

平成28年
消防年報



松原市消防本部
(平成29年刊行)

松原市民憲章

昭和 52 年 10 月 28 日制定

- ☆ 隣人と仲良くしお互いの人権を尊重します
- ☆ 歴史と伝統を重んじ郷土の発展につくします
- ☆ 健康で良識のある市民になるよう努めます
- ☆ 家庭を愛し働く喜びをもって平和な社会をつくります
- ☆ きまりを守りよりよいまちを次の世代に渡します

市 章



市章のいわれ

「松原」の地名にもとづく松の葉を二つの円形にあしらったもの。

昭和 30 年 2 月 1 日市制施行にあたり 5 町村のかけがりの結合を象徴し、市民の公募により設定。

市の木・花 (昭和 50 年 2 月 1 日制定)

市の木 松

市の花 バラ

市のキャラクター

マッキー



目 次

概 況

(1) 市 勢	1
(2) 松原市の位置	2
(3) 過去20年間の人口・世帯数及び職員数の推移	3
(4) 消防の沿革	4～12
(5) 消防本部・消防署・分署及び消防団屯所の位置	13
(6) 組 織	14
(7) 事務分掌	15～18
(8) 消防力の現況	19

庶 務

(1) 当初予算の推移	20
(2) 消防費の内訳（当初予算）	20
(3) 消防費財源内訳（当初予算）	20
(4) 消防費の割合（当初予算）	21
(5) 職員の配置状況	21
(6) 職員数及び定数の推移	22
(7) 職員の年齢構成	22
(8) 職員の勤続年数状況	23
(9) 公務災害発生状況	23
(10) 免許及び資格取得者	24
(11) 相互応援協定	25～26
◇ 消防相互応援協定	
◇ その他の協定	

建 築

(1) 防火対象物数	27
(2) 消防同意事務処理状況	28
(3) 防火管理者選任状況	29
(4) 月別防火対象物竣工検査件数	30
(5) 各種届出状況	31
◇ 消防法関係届出状況	
◇ 市条例関係届出状況	
(6) 防火優良認定証表示状況	32

危険物・広報

- (1) 危険物許可施設状況 33
- (2) 危険物施設別事務処理状況 34
- (3) 各種危険物届出状況 35
- (4) 圧縮アセチレンガス等・少量危険物・指定可燃物等施設数 35
- (5) 広報実施状況 36
- (6) 幼年消防クラブの状況 37
 - ◇ 現況
 - ◇ 活動状況
- (7) 婦人防火クラブの状況 38～39
 - ◇ 現況
 - ◇ 各地区婦人防火クラブ名及び人数
 - ◇ 活動状況
- (8) 保安3法施設状況 40

通 信

- (1) 消防通信指令システム図 41
- (2) 通信指令機器等 42
- (3) 無線機器・設備の配置及び使用無線波 43～44
- (4) 指令台収容回線 44
- (5) 月別・通報種類別・災害受付件数及び災害案内着信件数 45
- (6) 松原市内から「救急安心センターおおさか」への問い合わせ件数等 . . . 46

警 備

- (1) 消防用資器材保有状況 47～48
- (2) 消防車両の配置 49
- (3) 消防水利 50
- (4) 消火栓口径別数（公設） 50
- (5) 消火薬剤保有状況 50
- (6) 消防ホース保有状況 50
- (7) 消防活動状況 51
 - ◇ 緊急活動
 - ◇ その他の活動
- (8) 訓練指導状況 52
 - ◇ 事業所関係

◇ その他

(9) 火災予防条例関係届出状況 52

火 災

(1) 火災状況 53～54

◇ 月別火災状況

◇ 過去 10 年間の火災状況

(2) 月別出火件数 55

(3) 時間別出火件数 55

(4) 火災種別及び建物用途別出火件数 56

(5) 地区別、地域別出火件数 56

(6) 過去 10 年間の死傷者の発生状況 57

◇ 年別死傷者の発生状況

◇ 年齢別死傷者の発生状況

◇ 経過別死傷者の発生状況

(7) 過去 10 年間の出火原因別出火件数 58

(8) 過去 10 年間の主な出火原因 59

(9) 失火による出火件数 60

(10) 過去 10 年間の火災による損害額の推移 61

◇ 火災 1 件あたりの平均損害額の推移

◇ 1 年間の火災による総損害額の推移

救急・救助

(1) 救急活動状況及び搬送人員 62

(2) 救急活動状況の対前年増減数 63

(3) 過去 10 年間の救急出場件数及び搬送人員 63

(4) 月別出場件数及び搬送人員 64

(5) 曜日別出場件数及び搬送人員 64

(6) 時間別救急出場件数 65

(7) 地域別救急出場件数及び搬送人員 66

(8) 事故種別搬送人員割合 67

(9) 診療科目別搬送人員 67

(10) 年齢別傷病程度別搬送人員 68

(11) 傷病程度別搬送人員割合 68

(12) 救急活動所要時間 69

◇ 現場到着所要時間別出場件数（指令から現場到着迄）

◇ 収容所要時間別搬送人員（指令から医療機関等収容迄）

(13) 救急隊員の行った応急処置件数	70
(14) 救急講習会指導状況	70
(15) 事故別救助活動状況	71
(16) 過去5年間の救助活動状況	71

消 防 団

(1) 松原市消防団の組織	72
(2) 団員配置状況	73
(3) 団員の年齢構成	73
(4) 団員の勤続年数	74
(5) 火災出場状況	74
(6) 消防自動車配置状況	75
(7) 無線機配置状況	76
(8) 消防団活動状況	77

概況

(1) 市勢

本市は東に金剛、葛城連峰を望む河内平野の一角にあり、大阪府のほぼ中央に位置しています。北は奈良県下に源を発する大和川を隔てて大阪市に臨み、西と南は堺市、東は八尾市、藤井寺市、羽曳野市に隣接して河内平野南部の要所を占め、面積16.66 km²の市域となっています。

明治22年町村制施行時、旧5ヶ村における人口は12,000余人にすぎなかったのですが、昭和19年から20年にかけて大阪市、堺市の戦災に伴い人口流入による一時的に大幅な人口増加がありました。戦後の昭和21年にはわずかに減少を見たものの、産業の発展に伴って大都市への人口集中化が始まった結果、本市も大阪市の南のターミナル近鉄南大阪線「阿部野橋駅」から「河内松原駅」まで約10分と交通が至便なため、高度成長期に著しく増加しましたが、昭和50年以後は停滞し、平成2年をピークに減少に転じ、現在（平成29年4月1日）121,125人を数えるに至っています。

地名「松原」の由来は反正天皇が6年間にわたり、当地に都を定められ、丹比柴籬宮と称していましたが、允恭天皇が都を移すとその宮殿跡が「松生いし丹比の松原」といわれるようになり、ここから名付けられたと伝えられています。

当地は古くからひらけ高い文化をもっていたようで、江戸時代には綿作栽培がさかんになり、河内木綿として有名になりますが特に「三宅木綿」の名が知られています。そして政治的にも軍事的にも重要な地として各藩領、代官の支配地となり幾多の行政管轄の変遷を重ねて明治維新を迎えました。

明治22年、町村制により松原村、天美村、布忍村、恵我村が生まれ、明治29年4月に前記4村と三宅村が中河内郡に属し、昭和17年松原村、昭和22年1月天美村がそれぞれ町となりました。

昭和30年2月1日、前記2町3村が町村合併促進法により合併して、府下21番目の市として松原市の誕生を見るに至りました。その後昭和32年4月に美原町の一部丹南地区を、同年10月に堺市の一部河合地区を編入し、昭和39年4月には若林地区の一部北若林が八尾市に編入されて現在に至っています。

(2) 松原市の位置



	東端	西端	南端	北端
経度	東経 135° 35' 19"	135° 31' 25"	135° 33' 21"	135° 32' 48'
緯度	北緯 34° 35' 11"	34° 35' 11"	34° 33' 02"	34° 35' 46"
町名	若林 2 丁目	天美西 6 丁目	丹南 6 丁目	天美北 4 丁目

	本部の位置
所在地	松原市阿保 1 丁目 16 番 2 号
経度	135° 32' 25"
緯度	34° 35' 28"

(3) 過去20年間の人口・世帯数及び職員数の推移

(平成29年4月1日現在)

年	区 分	人 口(人)	世帯数(世帯)	職員数(人)	
					うち再任用者(人)
平 成 10 年		134,435	49,484	92	0
平 成 11 年		134,153	50,030	92	0
平 成 12 年		133,648	50,419	92	0
平 成 13 年		133,216	50,788	91	0
平 成 14 年		132,533	51,082	91	0
平 成 15 年		131,803	51,353	92	1
平 成 16 年		130,590	51,452	92	1
平 成 17 年		129,833	51,776	93	0
平 成 18 年		129,077	52,174	92	0
平 成 19 年		127,910	52,394	92	0
平 成 20 年		125,962	51,970	94	0
平 成 21 年		127,085	53,596	92	0
平 成 22 年		126,432	53,954	94	1
平 成 23 年		125,771	54,346	95	2
平 成 24 年		124,920	54,623	95	1
平 成 25 年		123,991	54,342	96	1
平 成 26 年		123,270	54,637	104	1
平 成 27 年		122,482	54,880	114	1
平 成 28 年		121,730	55,196	114	1
平 成 29 年		121,125	55,541	115	1

(4) 消防の沿革

- 昭和30年 2月 1日 松原町、天美町、三宅村、布忍村、恵我村、2町3村が合併し松原市となる
市制施行に基づき消防団の再編成を行い、1団5ヶ分団をもって松原市消防団が誕生
消防団員165名、消防ポンプ自動車5台、小型動力ポンプ5台
- 昭和32年 4月 管轄区域の拡大により新たに1ヶ分団が設置され、1団6ヶ分団となる
消防ポンプ自動車6台、小型動力ポンプ車6台
- 昭和40年 3月31日 「消防本部及び消防署をおかなければならない市町村を定める等の政令第16号」により松原市消防本部、松原市消防署を開設し、庶務、予防、警備の3係を以って業務を開始
初代消防長に大江利正が就任消防職員17名、消防ポンプ自動車2台、救急自動車1台、広報車1台を配備
- 〃 10月 消防職員数26名
- 〃 12月 水槽付消防ポンプ自動車を購入、本署に配備
大阪市と消防相互応援協定を締結
- 昭和41年 2月 消防情報の敏速適確を図るため、消防本部に消防専用超短波無線電話を開局、各車にこれの移動局を装備
- 〃 4月 消防職員数34名
- 〃 10月 第2代消防長に池田正一が就任
- 昭和42年 3月 防火水槽40m³級1基設置
- 〃 4月 消防職員数39名
消防の支援団体として松原市火災予防協会を設立
- 〃 10月 火災予防協会より赤バイの寄贈を受け、本署に配備
- 〃 11月 日本損害保険協会より消防ポンプ自動車の寄贈を受け、「損保号」と命名し、本署に配備
- 昭和43年 1月 消防専用超短波携帯無線電話機を購入
- 〃 3月 防火水槽40m³級2基設置
- 〃 4月 消防職員数44名
- 〃 6月 中高層建物の人命救助に備え消防特別救助隊が発足
- 〃 9月 赤バイを購入、本署に配備
- 〃 10月 消防専用超短波携帯無線電話機3基を購入
- 昭和43年12月 中高層建物の人命救助に備え、11m級の屈折はしご付消防ポンプ自動車を購入、本署に配備
消防ポンプ自動車を更新、第1分団に配備

昭和44年 4月	消防職員数51名
昭和45年 1月	放水砲を購入し、木造大建築物火災に備える
〃 2月	救急自動車に消防専用超短波無線電話移動局を装備 柏原・羽曳野・藤井寺消防組合及び南河内2市4町1村と消防相互応援協定を締結
〃 3月	防火水槽40m ³ 級2基設置
〃 4月	消防職員数60名
〃 8月	火災予防協会より指令車の寄贈を受け、本署に配備
〃 9月	第3代消防長に上山保が就任
〃 10月	大阪市と航空消防応援協定を締結
〃 11月	人口の急増に伴い新たに救急自動車を購入、本署に配備し2台運用を図る
昭和46年 3月	危険物火災に対処するため、準化学車を購入、本署に配備
〃 4月	消防職員数64名 防火水槽40m ³ 級1基設置
〃 6月	天美南4丁目に鉄筋2階建面積108.50m ² 延面積203m ² の松原市消防署西出張所庁舎が竣工消防職員14名、水槽付消防ポンプ自動車、消防ポンプ自動車、救急自動車を配備し、業務を開始
〃 9月	松原ロータリークラブ、松原ライオンズクラブ、火災予防協会より消防査察車及び小型動力ポンプの寄贈を受け、本署に配備 堺市・高石市消防組合と消防相互応援協定を締結
〃 11月	住宅火災の防止を図るため松原市婦人防火クラブが発足
昭和47年 3月	防火水槽40m ³ 級4基設置
〃 4月	消防職員数67名
〃 6月	「危険物安全の日」を毎月15日に制定
〃 11月	消防ポンプ自動車を更新、第5分団に配備
昭和48年12月	高層建物火災に備え、32m級のはしご付消防ポンプ自動車を購入、本署に配備 消防職員数68名 防火水槽40m ³ 級2基設置
昭和49年 3月	防火水槽40m ³ 級2基設置
〃 4月	消防本部の組織を3課6係に改める
〃 9月	消防職員数69名 防火水槽40m ³ 級1基設置
〃 10月	消防職員数71名
〃 11月	消防ポンプ自動車を更新、第4分団に配備

昭和50年 3月	防火水槽40m ³ 級1基設置
" 8月	消防ポンプ自動車を更新、本署に配備
" 12月	消防職員数72名
昭和51年 3月	防火水槽40m ³ 級1基設置
" 7月	救急自動車を更新、本署に配備
" 9月	火災予防協会より指令車の寄贈を受け、本署に配備
" 10月	水槽付消防ポンプ自動車を購入、西出張所に配備
" 11月	天美地区後援会より小型動力ポンプ積載車の寄贈を受け、第2分団に配備
昭和52年 4月	三宅地区後援会より小型動力ポンプ積載車の寄贈を受け、第5分団に配備
" 7月	救急自動車を更新、西出張所に配備
" 8月	消防ポンプ自動車を更新、第3分団に配備
" 12月	日本損害保険協会より消防ポンプ自動車の寄贈を受け、「損保2号」と命名し、 本署に配備
	防火水槽40m ³ 級1基設置
昭和53年10月	消防緊急指令装置を本署に設置
" 11月	(財)日本防火協会より広報車の寄贈を受け、本署に配備
	八尾市と消防相互応援協定を締結
" 12月	防火水槽40m ³ 級2基設置
	新町地区自治振興連合会より小型動力ポンプ積載車の寄贈を受け、第3分団に 配備
昭和54年10月	防火水槽40m ³ 級1基設置
" 11月	消防ポンプ自動車を更新、第2分団に配備
" 12月	救急自動車を更新、本署に配備
昭和55年 9月	消防ポンプ自動車を更新、第6分団に配備
昭和55年11月	防火水槽40m ³ 級2基設置
	危険物火災に対処するため、I型化学消防自動車を購入、本署に配備
昭和56年 4月	第4代消防長に津村達男が就任
" 12月	防火水槽40m ³ 級2基設置
昭和57年 4月	山辺広域消防組合、大和郡山市、西和消防組合、香芝・広陵消防組合、柏原・ 羽曳野・藤井寺消防組合と西名阪道路上の消防相互応援協定を締結
" 6月	大阪府モーターボート競走会より救急自動車の寄贈を受け、本署に配備
" 10月	消防ポンプ自動車を更新、本署に配備
" 12月	防火水槽40m ³ 級を2基設置

- 昭和58年 4月 松原市消防団第2分団後援会より小型動力ポンプ及び積載車の更新寄贈を受け、第2分団に配備
消防職員数76名
- 〃 6月 三宅町土地改良区より小型動力ポンプの更新寄贈を受け、第5分団に配備
- 〃 7月 指令車を更新、本署に配備
- 〃 8月 大阪府モーターボート競走会より救急自動車の寄贈を受け、本署に配備
- 〃 12月 防火水槽40m³級を2基設置
- 昭和59年 6月 防火思想を深めるため市立幼稚園、星の光幼稚園が幼年消防クラブを結成
- 〃 8月 (財)日本防火協会より軽可搬消防ポンプ(2台)の寄贈を受け、婦人防火クラブに配備
- 〃 10月 中高層建物火災に備え、15m級バスケット付はしご消防ポンプ自動車を購入、西出張所に配備
- 〃 12月 防火水槽40m³級2基設置
- 昭和60年 3月 消防庁長官表彰旗を受賞
- 〃 8月 (財)日本消防協会より救急自動車の寄贈を受け、西出張所に配備
- 〃 10月 火災予防協会の支援を得て、ミニ消防車を作製
- 〃 11月 水防倉庫を移転、天美北4丁目に鉄筋コンクリート造建面積48m²が竣工
- 〃 12月 防火水槽40m³級1基設置
- 昭和61年 3月 防火水槽40m³級1基設置
- 〃 4月 消防職員数77名
- 〃 6月 松原ひかり幼稚園が幼年消防クラブを結成
- 昭和61年10月 消防団緊急伝達システムを設置
- 〃 12月 火災予防協会よりホース洗浄機の寄贈を受ける
- 昭和62年 3月 防火水槽40m³級2基設置
- 〃 8月 大阪市をはじめ、大阪国際空港周辺都市10市及び2組合と航空機災害消防相互応援協定を締結
- 〃 12月 救助工作車を購入、本署に配備
火災予防協会よりホース乾燥柱の寄贈を受ける
- 昭和63年 3月 防火水槽40m³級2基設置
東大阪市と消防相互応援協定を締結
- 〃 9月 府下常備消防設置の各市町及び組合と大阪府下広域消防相互応援協定を締結
- 〃 12月 消防ポンプ自動車を更新、西出張所に配備
- 平成元年 3月 防火水槽40m³級2基設置
- 〃 11月 消防ポンプ自動車を更新、第5分団に配備

平成 2年 3月	防火水槽40m ³ 級2基設置 大阪府共済農業協同組合連合会より救急自動車の寄贈を受け、本署に配備 天美コミュニティー消防センター(第2分団屯所)を新設(延面積237.93m ²)
〃 4月	消防職員数78名
〃 10月	大阪府モーターボート競走会より救急自動車の寄贈を受け、西出張所に配備
〃 11月	防火水槽40m ³ 級1基設置
平成 3年 2月	消防ポンプ自動車を更新、本署に配備
〃 3月	防火水槽40m ³ 級1基設置
〃 4月	広報車を更新、本署に配備 第5代消防長に滝野正秀が就任 消防職員数79名
〃 10月	消防ポンプ自動車を更新、第4分団に配備
〃 12月	防火水槽40m ³ 級1基設置
平成 4年 2月	防火水槽40m ³ 級1基設置
〃 3月	三宅コミュニティー消防センター(第5分団屯所)を新設(延面積149.4m ²)
〃 12月	救急処置拡大に伴う資機材を整備
平成 5年 1月	防火水槽40m ³ 級1基設置
〃 3月	防火水槽40m ³ 級1基設置 松原コミュニティー消防センター(第1分団屯所)を新設(延面積276.36m ²)
〃 4月	第6代消防長に永木茂が就任 消防職員数80名
〃 7月	松原市消防団第1分団後援会より小型動力ポンプ積載車の更新寄贈を受け、第1分団に配備
平成 6年 2月	防火水槽40m ³ 級1基設置
〃 3月	防火水槽40m ³ 級1基設置 松原南コミュニティー消防センター(第6分団屯所)を新設(延面積130.7m ²)
〃 4月	消防職員数83名
〃 7月	(財)日本防火協会より広報車の寄贈を受け、本署に配備
〃 10月	40m級はしご付消防自動車を更新、本署に配備 消防ポンプ自動車を更新、第3分団に配備
平成 7年 2月	防火水槽40m ³ 級1基設置 松原市消防団第2分団後援会より小型動力ポンプ積載車の更新寄贈を受け、第2分団に配備
〃 3月	防火水槽40m ³ 級1基設置

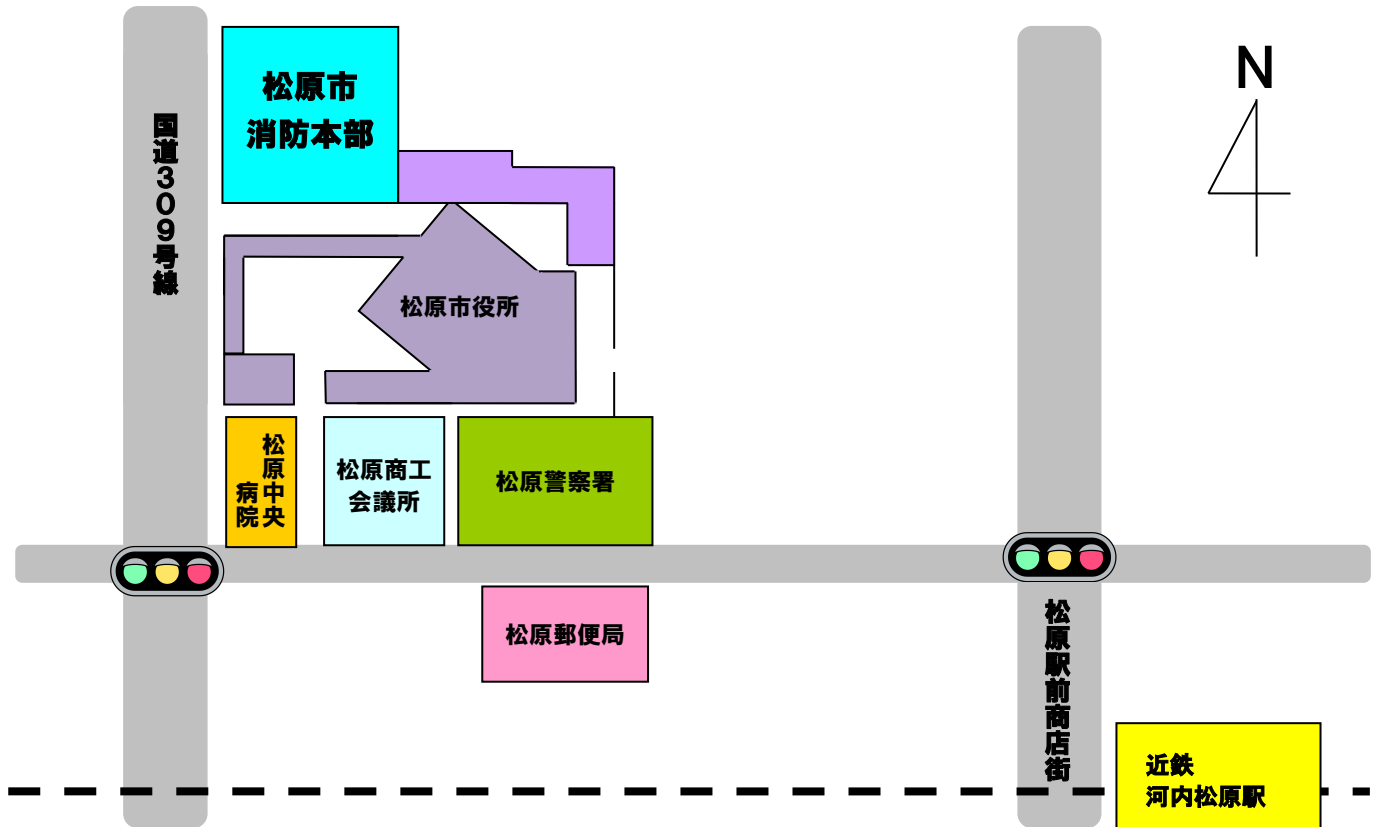
〃	4月	消防職員数87名
〃	10月	防火水槽40m ³ 級1基設置 消防ポンプ自動車を更新、第2分団に配備
〃	11月	指令車を更新、本署に配備
〃	12月	I型化学消防自動車を更新、本署に配備
平成8年	2月	耐震性防火水槽40m ³ 級1基設置
〃	3月	高規格救急自動車を購入、本署に配備
〃	4月	消防職員数89名
〃	11月	消防ポンプ自動車を更新、第6分団に配備
平成9年	3月	耐震性防火水槽100m ³ 級1基設置
〃	4月	耐震性防火水槽40m ³ 級1基設置 消防職員数91名
平成9年	8月	(財)日本防火協会より広報車の寄贈を受け、本署に配備
〃	10月	消防ポンプ自動車を更新、西出張所に配備
〃	11月	査察車を更新、本署に配備 耐震性防火水槽100m ³ 級1基設置
〃	12月	松原市消防団第3分団後援会より小型動力ポンプ積載車の更新寄贈を受け、第3分団に配備
平成10年	1月	耐震性防火水槽40m ³ 級1基設置
〃	2月	大阪府モーターボート競走会より救急自動車の寄贈を受け、西出張所に配備
〃	3月	松原市消防本部、消防署庁舎が竣工鉄筋コンクリート造一部鉄骨造4階建て、 建面積665.19m ² 、延面積2104.54m ²
〃	4月	第7代消防長に油谷勝次が就任 消防職員数92名
〃	10月	日本損害保険協会より消防ポンプ自動車の寄贈を受け、本署に配備 耐震性防火水槽100m ³ 級1基設置
〃	12月	高規格救急自動車を購入、西出張所に配備
平成11年	1月	耐震性防火水槽40m ³ 級1基設置
〃	3月	消防緊急通信指令施設を設置
〃	4月	第8代消防長に布内四郎が就任
〃	11月	耐震性防火水槽40m ³ 級1基設置
平成12年	2月	松原ライオンズクラブより資材搬送車の寄贈を受け、本署に配備
〃	4月	大阪府中ブロック消防相互応援協定を締結

// 12月 耐震性防火水槽100m³級1基設置
 消防ポンプ自動車を更新、第1分団に配備
 平成13年 4月 消防職員数91名
 // 12月 耐震性防火水槽40m³級1基設置
 平成14年 2月 松原市消防団が(財)日本消防協会より特別表彰「まとい」を受賞
 // 3月 消防ポンプ自動車を更新、本署に配備
 // 4月 松原市消防救急隊の3隊運用を開始
 // 12月 高規格救急自動車を購入、本署に配備
 平成15年 2月 耐震性防火水槽40m³級1基設置
 // 3月 救助工作車を更新、本署に配備
 平成15年 4月 消防職員数92名
 平成16年 1月 高規格救急自動車を更新、本署に配備
 // 2月 耐震性防火水槽40m³級1基設置
 // 3月 15m級はしご付消防ポンプ車を更新、西出張所に配備
 // 4月 第9代消防長に保田明が就任
 平成17年 1月 恵我コミュニティー消防センター(第4分団屯所)を新設(延面積180m²)
 耐震性防火水槽40m³級1基設置
 // 3月 消防ポンプ自動車を更新、西出張所に配備
 // 4月 消防職員数93名
 // 9月 恵我地区消防団後援会より小型動力ポンプ積載車の寄贈を受け、第4分団に
 配備
 // 10月 消防ポンプ自動車を更新、第5分団に配備
 平成18年 2月 広報車を更新、本署に配備
 // 4月 第10代消防長に矢田幸男が就任
 消防職員数92名
 平成19年 3月 消防ポンプ自動車を更新、本署に配備
 // 4月 第11代消防長に榎本孝造が就任
 // 9月 消防ポンプ自動車を更新、第4分団に配備
 平成20年 1月 高規格救急自動車を更新、本署に配備
 // 4月 消防職員数94名
 平成21年 3月 耐震性防火水槽40m³級1基設置
 // 4月 第12代消防長に山里健三が就任
 指揮車を購入、本署に配備
 消防職員数92名

平成22年 3月	高規格救急自動車を更新、西出張所に配備
〃 4月	消防職員数94名
〃 5月	認定こども園宮前つばさが幼年消防クラブを結成
〃 10月	消防ポンプ自動車を更新、第3分団に配備
〃 12月	高規格救急自動車を購入、本署に配備
平成23年 1月	消防緊急通信指令施設を部分更新
〃 4月	消防職員数95名
平成23年 8月	消防ポンプ自動車を更新、第2分団に配備
平成24年 3月	高規格救急自動車を更新、本署に配備
〃 4月	第13代消防長に中村勝が就任
〃 10月	消防ポンプ自動車を更新、第6分団に配備
平成25年 3月	消防ポンプ自動車を更新、本署に配備
	耐震性防火水槽40m ³ 級1基設置
〃 4月	消防職員数96名
〃 11月	松原市消防署西分署庁舎が竣工鉄骨造2階一部3階建て、建面積609m ² 、延面積940m ²
平成26年 2月	40m級はしご付消防自動車を更新、本署に配備
〃 3月	消防ポンプ自動車を更新、西分署に配備
〃 4月	第14代消防長に北野光浩が就任
	消防職員数104名
〃 9月	耐震性防火水槽40m ³ 級1基設置
〃 10月	松原市消防救急隊の4隊運用を開始
平成27年 3月	消防救急デジタル無線及び高機能消防指令センターへの更新
	高規格救急自動車を更新、西分署に配備
	水槽付消防ポンプ自動車を更新、本署に配備
〃 4月	市内ガソリンスタンド20店舗と災害時等におけるガソリン等燃料の供給に関する協定を締結
	消防職員数114名
〃 11月	消防本部発足50周年記念「消防フェスタ」を開催
平成28年 3月	支援車を購入、本署に配備
4月	第15代消防長に貝本義明が就任
	総務省消防庁より救助資機材搭載型消防ポンプ自動車の無償貸付を受け、第1分団に配備
	消防職員数114名

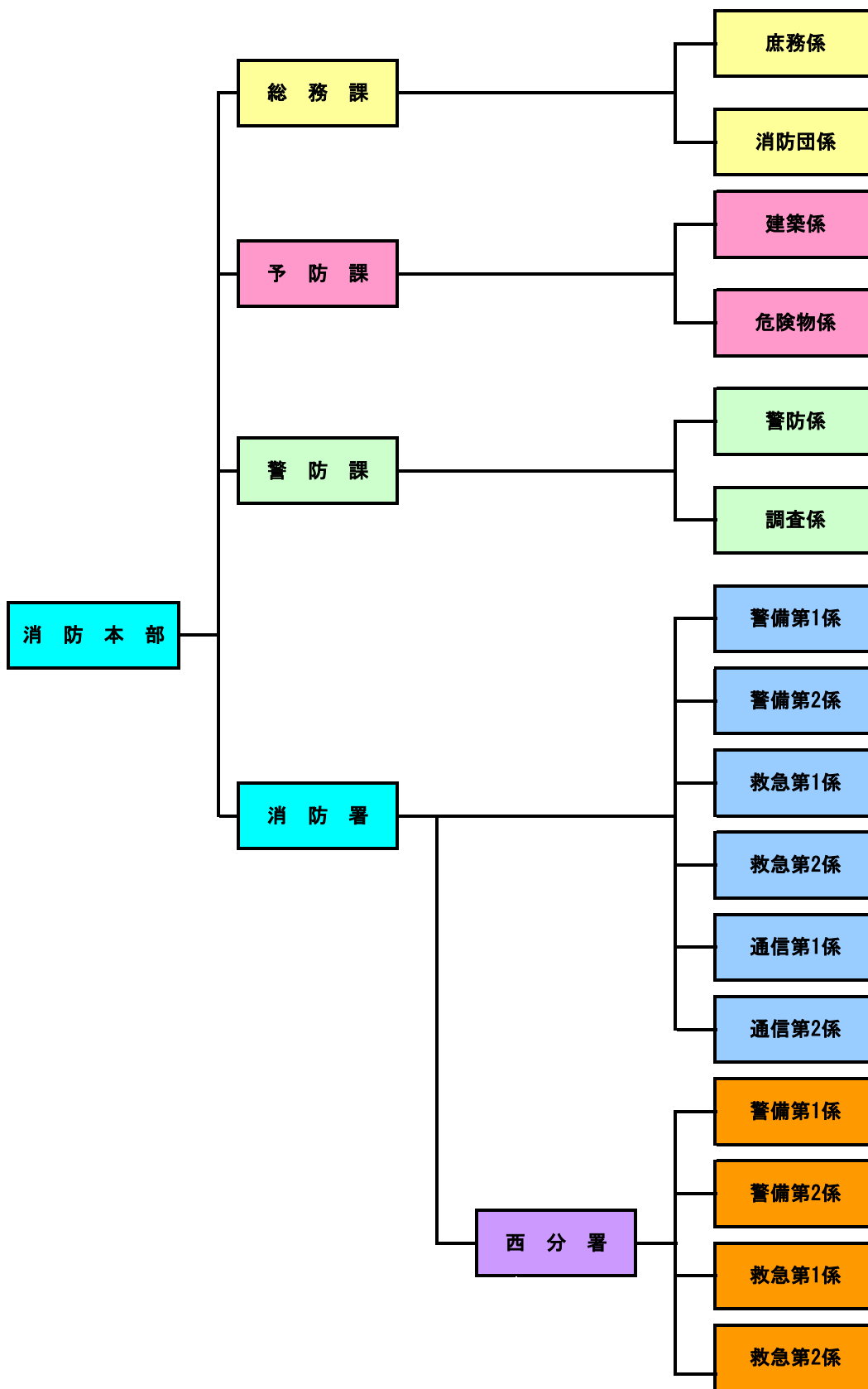
9月 第60回大阪府消防操法訓練大会 松原市消防団 優勝
11月 第4回大阪府下警防技術指導会 松原市消防本部 優秀賞
平成29年 3月 高規格救急自動車を更新、西分署に配備
消防ポンプ自動車を更新、本署に配備
4月 松原市消防特別救助隊を発足
消防職員数115名

(5) 消防本部・消防署・西分署及び消防団屯所の位置



(6) 組織

(平成29年4月1日現在)



(7) 事務分掌

① 総務課

ア 庶務係

- (ア) 消防本部各課、消防署との連絡調整に関する事。
- (イ) 組織、機構その他重要事項の調査研究及び企画に関する事。
- (ウ) 職員の任免、給与、研修、健康管理、福利厚生その他人事に関する事。
- (エ) 職員及び消防協力者等の公務災害に関する事。
- (オ) 消防本部の予算並びに条例、規則及び規程等の総括に関する事。
- (カ) 公印の保管に関する事。
- (キ) 表彰に関する事。
- (ク) 消防手帳、消防公務之証その他証票の発行に関する事。
- (ケ) 財産の管理及び営繕に関する事。
- (コ) 手数料に関する事。
- (サ) 消防職員委員会に関する事。
- (シ) 他の課の所管に属しない事。

イ 消防団係

- (ア) 消防団員の服装に関する事。
- (イ) 消防団員の研修及び訓練の実施に関する事。
- (ウ) 消防団員の報酬及び手当の支給に関する事。
- (エ) 消防団員の公務災害及び退職報償金に関する事。
- (オ) 消防団員の表彰に関する事。
- (カ) 消防団員の健康管理に関する事。
- (キ) 消防団員に係る予算の執行に関する事。
- (ク) 消防団及びコミュニティ消防センターの財産管理及び運営に関する事。

② 予防課

ア 建築係

- (ア) 建築物の確認その他法令に基づく許認可の同意に関する事。
- (イ) 建築物の査察、設備指導及び違反処理に関する事。
- (ウ) 建築物の防火に関する事。
- (エ) 消防用設備等の指導及び検査に関する事。
- (オ) 火気及び電気使用設備器具の防火に関する事。
- (カ) 防火対象物の使用開始に関する事。
- (キ) 防火管理者及び防災管理者の資格講習及び指導に関する事。
- (ク) 旅館、ホテル等の防火安全に関する意見書の交付に関する事。
- (ケ) 防火・防災基準適合表示制度に関する事。
- (コ) 建築統計に関する事。
- (サ) その他消防関係法令に基づく申請、届出、検査等の事務（危険物係の所管に係るものを除く。）に関する事。

イ 危険物係

- (ア) 危険物製造所等の許認可、検査及び指導に関すること。
- (イ) 危険物施設の査察、保安及び違反処理に関すること。
- (ウ) 危険物取扱者等の指導育成に関すること。
- (エ) 危険物施設の災害調査及び研究に関すること。
- (オ) 少量危険物及び指定可燃物の貯蔵取扱いに関すること。
- (カ) 圧縮アセチレンガス、液化石油ガス等の各種届出及び火災予防指導に関すること。
- (キ) 危険物統計に関すること。
- (ク) その他危険物関係法令に基づく申請、届出、検査等の事務に関すること。
- (ケ) 火災予防の企画及び立案に関すること。
- (コ) 火災予防の広報公聴及び消防広報に関すること。
- (サ) 火災予防思想の普及及び幼年消防クラブ、婦人防火クラブ等の指導育成に関すること。
- (シ) 火災予防に係る補助事業に関すること。
- (ス) 火薬類取締法（昭和 25 年法律第 149 号）に関すること。
- (セ) 高压ガス保安法（昭和 26 年法律第 204 号）に関すること。
- (ソ) 液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律（昭和 42 年法律第 149 号）に関すること。

③警防課

ア 警防係

- (ア) 警防計画に関すること。
- (イ) 消防部隊の配備運用計画に関すること。
- (ウ) 警防技術の研究及び指導に関すること。
- (エ) 総合的な警防訓練に関すること。
- (オ) 消防車両、通信施設及び警防資機材の整備計画に関すること。
- (カ) 非常警備に関すること。
- (キ) 火災警報に関すること。
- (ク) 消防水利計画に関すること。
- (ケ) 水防に関すること。
- (コ) 消防相互応援協定に関すること。
- (サ) 緊急消防援助隊に関すること。
- (シ) 高速道路等有料道路の関係機関との協議に関すること。

イ 調査係

- (ア) 火災原因の究明及び損害の調査に関すること。
- (イ) 火災報告に関すること。
- (ウ) 罹災証明の発行に関すること。
- (エ) 火災記録に関すること。
- (オ) 火災統計に関すること。

④消防署

ア 警備第1係・警備第2係

- (ア) 職員の配置及び願届に関する事。
- (イ) 職員の服務教養及び訓練礼式に関する事。
- (ウ) 火災その他災害の警戒及び防ぎよ活動に関する事。
- (エ) 諸災害の調査に関する事。
- (オ) 消防及び救助活動の記録に関する事。
- (カ) 消防地水利の調査保全に関する事。
- (キ) 住宅防火に関する事。
- (ク) 開発指導に関する事。
- (ケ) 消防車両及び機械器具の運用及び整備保全に関する事。
- (コ) 諸団体の消防訓練の指導に関する事。
- (サ) 救助業務の実施に関する事。
- (シ) 救助技術の開発に関する事。
- (ス) 消防及び救助統計に関する事。
- (セ) その他消防警備に関する事。

イ 通信第1係・通信第2係

- (ア) 消防通信の運用及び統制に関する事。
- (イ) 消防、救急及び救助活動の指令に関する事。
- (ウ) 気象情報の収集及び伝達に関する事。
- (エ) 災害等の情報収集及び連絡に関する事。
- (オ) その他消防通信に関する事。

ウ 救急第1係・救急第2係

- (ア) 救急業務の実施に関する事。
- (イ) 救急技術の研究指導に関する事。
- (ウ) 救急医療情報の収集及び救急医療機関との連絡調整に関する事。
- (エ) 救急事務に係る証明に関する事。
- (オ) 応急手当の普及及び啓発活動に関する事。
- (カ) 諸団体の救急訓練の指導に関する事。
- (キ) 救急統計に関する事。
- (ク) 救急資機材の整備及び薬品の管理に関する事。
- (ケ) その他救急に関する事。

⑤分署

ア 警備第1係・警備第2係

- (ア) 職員の願届に関する事。
- (イ) 職員の服務教養及び訓練礼式に関する事。
- (ウ) 火災その他の災害の警備及び防ぎよ活動に関する事。
- (エ) 諸災害の調査に関する事。
- (オ) 消防活動の記録に関する事。
- (カ) 消防地水利の調査保全に関する事。
- (キ) 住宅防火に関する事。
- (ク) 消防車両及び機械器具の運用及び整備保全に関する事。
- (ケ) 諸団体の消防訓練に関する事。
- (コ) その他消防警備に関する事。

イ 救急第1係・救急第2係

- (ア) 救急業務の実施に関する事。
- (イ) 救急技術の研究指導に関する事。
- (ウ) 救急医療情報の収集に関する事。
- (エ) 応急手当の普及及び啓発活動に関する事。
- (オ) 諸団体の救急訓練の指導に関する事。
- (カ) 救急統計に関する事。
- (キ) 救急資機材の整備及び薬品の管理に関する事。
- (ク) その他救急に関する事。

(8) 消防力の現況

(平成29年4月1日現在)

署 所 数		1署・1分署
車 両	小型水槽付消防ポンプ自動車（予備車1台含む）	5台
	水槽付消防ポンプ自動車	1台
	救助工作車	1台
	はしご付消防自動車（40m級）	1台
	はしご付消防ポンプ自動車（15m級）	1台
	高規格救急自動車（予備車1台含む）	5台
	指揮車	1台
	その他の車両	5台
	合計	20台
人 員	消防隊員	25人
	救急隊員	23人
	救助隊員	12人
	通信員	8人
	指揮隊員	11人
	建築要員	6人
	危険物要員	3人
	庶務・団要員	13人
	警防・調査要員	14人
	合計	115人

庶務

(1) 当初予算の推移

(単位 千円)

区分 年度	一般会計	消防費	構成比(%)
平成25年	41,920,000	1,515,543	3.6%
平成26年	42,590,000	1,742,441	4.1%
平成27年	42,934,000	1,163,745	2.7%
平成28年	46,110,000	1,170,730	2.5%
平成29年	44,170,000	1,150,594	2.6%

(2) 消防費の内訳 (当初予算)

(単位 千円)

区分 年度	消防費	内訳					
		人件費	扶助費	物件費	補助費等	投資的経費	その他
平成28年	1,170,730	892,244	11,202	143,470	31,201	89,500	3,113
平成29年	1,150,594	900,729	11,719	145,873	37,780	52,140	2,353

(3) 消防費財源内訳 (当初予算)

(単位 千円)

区分 年度	消防費	消防費財源内訳			
		国府支出金	地方債	その他	一般財源
平成28年	1,170,730	5,790	80,500	17,856	1,066,584
平成29年	1,150,594	5,830	42,400	17,685	1,084,679

(4) 消防費の割合（当初予算）

（平成29年度）

歳出合計に対する 消防費の割合 $\frac{\text{消防費}}{\text{一般会計歳出合計}} \times 100$	人口一人当たり $\frac{\text{消 防 費}}{\text{人 口}}$	一世帯当たり $\frac{\text{消 防 費}}{\text{世 帯 数}}$
2.6 (%)	9,499 (円)	20,716 (円)

(5) 職員の配置状況（再任用含む）

（平成29年4月1日現在）

所属	階級	合 計	消防吏員							再 任 用
			消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	
	消防長	1	1							
	次 長	1		1						
	署 長	1		1						
	総務課	11		1	1	1	5		3	
	予防課	9		1	1	1	2		3	1
	警防課	14		1	1	3	5		4	
消防署	本 署	52		1	7	8	18	1	17	
	西分署	26			4	3	8		11	
	合 計	115	1	6	14	16	38	1	38	1

(6) 職員数及び定数の推移(再任用含む)

(平成29年4月1日現在)

年度	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年
職員数	94	92	94 (1)	95 (2)	95 (1)	96 (1)	104 (1)	114 (1)	114 (1)	115 (1)
定数	93	93	93	93	93	103	115	115	115	115

(7) 職員の年齢構成(再任用含む)

(平成29年4月1日現在)

階級 年齢	消 防 吏 員								事務職員
	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防長	消防副長	消防士	小計	
合計	1	6	14	16	39	1	38	115	
20歳未満							1	1	
20歳以上 25歳未満					2		14	16	
25歳以上 30歳未満					6		19	25	
30歳以上 35歳未満				4	13		4	21	
35歳以上 40歳未満			4	9	4			17	
40歳以上 45歳未満		1	8	2	9	1		21	
45歳以上 50歳未満		1	2		2			5	
50歳以上 55歳未満		3			1			4	
55歳以上	1	1		1	1			4	
再任用					1			1	
	平均年齢 34歳								

(8) 職員の勤続年数状況 (再任用含む)

(平成29年4月1日現在)

階級 年数	合 計	消 防 吏 員						
		消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
合 計	115	1	6	14	16	39	1	38
5 年 未 満	29	1	1			2		25
5 年 以 上 10 年 未 満	31					18		13
10 年 以 上 15 年 未 満	19			3	12	4		
15 年 以 上 20 年 未 満	9			5	1	3		
20 年 以 上 25 年 未 満	13		1	4	2	5	1	
25 年 以 上 30 年 未 満	6		1	1		4		
30 年 以 上 35 年 未 満	4		2	1		1		
35 年 以 上 40 年 未 満	3		1		1	1		
40 年 以 上 再任用	1					1		
平均勤続年数	11年8ヶ月							

(9) 公務災害発生状況

種別 年度	負 傷 者 状 況(人)						治 療 期 間(人)		
	合 計	火 災	救 急	訓 練	通 勤	そ の 他	一 週 間 未 満	一 ヶ 月 未 満	一 ヶ 月 以 上
平成 24 年度	4	2			1	1	2	1	1
平成 25 年度	4	1	2		1		2	1	1
平成 26 年度	1			1			1		
平成 27 年度	1		1						1
平成 28 年度	0								

(10) 免許及び資格取得者

(平成29年4月1日現在)

免許・資格等 名称	種類	取得人数
普通自動車免許		19
中型自動車免許 (8 t 限定)		17
中型自動車免許 (限定解除)		25
大型自動車免許		53
2級小型船舶操縦免許		25
小型移動式クレーン運転技能講習		48
玉掛け技能講習		50
フォークリフト免許		2
第1級陸上特殊無線技士		0
第2級陸上特殊無線技士		30
主任無線従事者講習		8
第1種衛生管理者		2
救急隊員資格	I 課程	1
	II 課程	1
	救急科	46
救急救命士		28
薬剤投与		24
気管挿管 (講習)		22
気管挿管 (実習)		21
ビデオ喉頭鏡 (講習)		17
ビデオ喉頭鏡 (実習)		2
処置拡大追加講習		15
一般毒劇物取扱者		3
予防技術資格者 消防用設備等	検定	2
	従事経験	4
予防技術資格者 防火査察	検定	3
	従事経験	3
予防技術資格者 危険物	検定	1
	従事経験	0
防火対象物点検資格者		1
ガス溶接		25
高圧ガス製造保安責任者	丙種化学特別	8
危険物取扱責任者	乙1	1
	乙2	1
	乙3	4
	乙4	23
	乙5	1
	乙6	1
消防設備士		3
看護師		1
テクニカルロープレスキュー		18
酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者		17
潜水士		11
特定化学物質及びアルキル鉛作業従事者		22
緊急車両指導員講習		4
C S R (瓦礫救助講習)		19

(1 1) 相互応援協定

◇ 消防相互応援協定

名 称	締結年月日	協 定 機 関	協定内容
大阪市・松原市消防相互応援協定	昭和 40 年 12 月 1 日 (平成 25 年 11 月 1 日再)	大阪市	火災、水災、その他の災害防ぎよのため、応援の要請があったときは、業務に重大な支障がない限り、その要請地域に対し相互に応援する。
大阪府中ブロック消防相互応援協定	平成 12 年 4 月 1 日 (平成 17 年 2 月 1 日再)	富田林市・河内長野市・柏原市・羽曳野市・藤井寺市・大阪狭山市・河南町・太子町・千早赤阪村・柏原羽曳野藤井寺消防組合	大阪府中ブロック区域内において該当市町村又は柏原羽曳野藤井寺消防組合単独で処理できないような火災及びその他の災害が発生した場合、この協定加盟市町村消防機関に対し応援を求め災害を最小限に止め消防業務の円滑を図る。
大阪市・松原市航空消防応援協定	昭和 45 年 10 月 1 日 (平成 22 年 4 月 1 日再)	大阪市	大阪市と松原市との回転航空機による消防業務実施にあたって、必要な事項を定める。
松原市・堺市消防相互応援協定	昭和 46 年 9 月 17 日 (平成 20 年 10 月 1 日再)	堺市	火災、水災、その他の災害防ぎよのため、応援の要請があったときは、業務に重大な支障がない限り、その要請地域に対し相互に応援する。
八尾市・松原市消防相互応援協定	昭和 53 年 11 月 1 日 (昭和 63 年 3 月 17 日再)	八尾市	火災、水災、その他の災害防ぎよのため、応援の要請があったときは、業務に重大な支障がない限り、その要請地域に対し相互に応援する。
西名阪自動車道消防相互応援協定	昭和 57 年 4 月 1 日 (平成 26 年 4 月 1 日再)	奈良県広域消防組合・柏原羽曳野藤井寺消防組合	西名阪自動車道における消防業務について相互に応援し、消防業務の円滑を図る。
大阪国際空港周辺都市航空機災害消防相互応援協定	昭和 62 年 8 月 12 日 (平成 26 年 1 月 31 日再)	大阪市・堺市・豊中市・東大阪市・池田市・吹田市・八尾市・柏原羽曳野藤井寺消防組合・高石市・尼崎市・西宮市・伊丹市・宝塚市・川西市	航空機の墜落等による大規模な災害が発生した場合における消防相互応援について必要な事項を定める。
東大阪市・松原市消防相互応援協定	昭和 63 年 3 月 17 日	東大阪市	近畿自動車道のうち、それぞれの市域間における火災及び救急救助事故の処理について、相互が協力し円滑を図る。
大阪府下広域消防相互応援協定	昭和 63 年 9 月 1 日 (平成 28 年 4 月 1 日再)	大阪府下の市町村及び消防組合	大阪府域内において大規模な災害が発生した場合における消防相互応援について必要な事項を定める。

◇ その他の協定

名 称	締結年月日	協 定 機 関	協定内容
救急医療無線局の整備運用に関する基本協定	昭和 45 年 3 月 4 日	大阪府	大阪府下救急医療体制の整備を図ることを目的とし、大阪府救急情報センターと情報交換のため、消防本部に設置する救急医療無線局を整備及び運用する。
消防対象物の行政事務処理に関する基本協定	昭和 50 年 8 月 1 日 (平成 20 年 10 月 1 日再)	堺市	境界線上に位置する消防対象物及び新たに境界線上に位置することとなる消防対象物に対する消防法に基づく立入検査、消防用設備等の設置指導、防火管理並びに火災の原因及び損害の調査等の事実上の事務処理の一元化を図り、住民の便宜等を考慮するとともに、消防行政の執行を適正かつ効率的に行う。
市境界線上に位置する消防対象物の取扱いに関する協定	昭和 53 年 12 月 20 日	大阪市	境界線上に位置する消防対象物及び新たに境界線上に位置することとなる消防対象物に対する消防法に基づく立入検査、消防用設備等の設置指導、防火管理及びに火災の原因及び損害の調査等の事実上の事務処理の一元化を図り、住民の便宜等を考慮するとともに、消防行政の執行を適正かつ効率的に行う。
阪神高速道路における消防及び救急等の業務に関する協定	昭和 55 年 1 月 21 日	阪神高速道路株式会社	消防本部内の管轄区域及び応援区域内の阪神高速道路における消防及び救急等の事務を円滑に遂行するため、相互協力をする。
境界線上に位置する消防対象物の取扱いに関する協定	昭和 55 年 2 月 1 日	柏原羽曳野藤井寺消防組合	境界線上に位置する消防対象物及び新たに境界線上に位置することとなる消防対象物に対する消防法に基づく立入検査、消防用設備等の設置指導、防火管理及びに火災の原因及び損害の調査等の事実上の事務処理の一元化を図り、住民の便宜等を考慮するとともに、消防行政の執行を適正かつ効率的に行う。
救急医療相談業務に係る応援協定書	平成 22 年 4 月 1 日	大阪市	救急安心センターおおさかに救急医療相談を求める者に対し、365 日・24 時間体制で、医師の支援体制のもと、看護師及び相談員が相談内容に応じて、適切な医療機関の案内、緊急性に関する助言等を行う。
保安 3 法事務連携機構おおさかの設立に関する協定書	平成 24 年 3 月 22 日	大阪府下の市町村及び消防組合各消防本部	保安 3 法事務連携おおさかの運営に関し必要な事項を定める。
災害時等におけるガソリン等燃料の供給に関する協定	平成 27 年 4 月 1 日	松原市内ガソリンスタンド 17 会社 (20 店舗)	地震などの災害時における燃料の供給体制の確保を図る。

建 築

(1) 防火対象物数

(平成29年3月31日現在)

防火対象物の区分			防火対象物数
1	イ	劇場・観覧場	1
	ロ	公会堂・集会場	65
2	イ	キャバレー等	
	ロ	遊技場	3
	ハ	性風俗関連店舗	
	ニ	カラオケボックス等	5
3	イ	待合・料理店	
	ロ	飲食店	57
4		百貨店・メーカーショップ	140
5	イ	旅館・ホテル	4
	ロ	寄宿舎・共同住宅	771
6	イ	病院・診療所	58
	ロ	老人短期入所施設等	44
	ハ	老人デイサービスセンター等	74
	ニ	幼稚園・養護学校等	11
7		学校等・各種学校	96
8		図書館・博物館	1
9	イ	蒸気浴場等	1
	ロ	公衆浴場	16
10		車両の停車場等	2
11		神社・寺院・教会	35
12	イ	工場・作業場	410
	ロ	テレビスタジオ等	
13	イ	自動車庫	10
	ロ	飛行機等の格納庫	
14		倉庫	182
15		事務所等	224
16	イ	複合用途防火対象物 (上記1～4・5イ・6・9イを含むもの)	193
	ロ	複合用途防火対象物 (16イ以外の複合用途防火対象物)	52
16の2		地下街	
16の3		建築物の地階((16の2)項に掲げるものの各階を除く。)で連続して地下道に面して設けられたものと当該地下道とを合わせたもの((1)項から(4)項まで、(5)項イ、(6)項又は(9)項イに掲げる防火対象物の用途に供される部分が存するものに限る。)	
17		重要文化財	
18		アーケード	
19		市町村長の指定する山林	
20		総務省令で定める舟車	
合計			2,455

(2) 消防同意事務処理状況

(平成28年度)

防火対象物の区分		階層別	同 意			合 計
			新 築 件 数	増 築 件 数	そ の 他 件 数	
1	イ	劇 場 ・ 観 覧 場				
	ロ	公 会 堂 ・ 集 会 場	1	1		2
2	イ	キ ャ バ レ ー 等				
	ロ	遊 技 場				
	ハ	性 風 俗 関 連 店 舗				
	ニ	カ ラ オ ケ ボ ッ ク ス 等				
3	イ	待 合 ・ 料 理 店				
	ロ	飲 食 店	1		1	2
4		百 貨 店 ・ マ ー ケ ッ ト	7			7
5	イ	旅 館 ・ ホ テ ル				
	ロ	寄 宿 舎 ・ 共 同 住 宅	31			31
6	イ	病 院 ・ 診 療 所				
	ロ	老 人 短 期 入 所 施 設 等	6			6
	ハ	老 人 デ イ サ ー ビ ス セ ン タ ー 等	3			3
	ニ	幼 稚 園 ・ 養 護 学 校 等				
7		学 校 等 ・ 各 種 学 校				
8		図 書 館 ・ 博 物 館				
9	イ	蒸 気 浴 場 等				
	ロ	公 衆 浴 場				
10		車 両 の 停 車 場 等				
11		神 社 ・ 寺 院 ・ 教 会				
12	イ	工 場 ・ 作 業 場				
	ロ	テ レ ビ ス タ ジ オ 等				
13	イ	自 動 車 庫				
	ロ	飛 行 機 等 の 格 納 庫				
14		倉 庫	6	1		7
15		事 務 所 等	7		1	8
16	イ	複 合 用 途 防 火 対 象 物 (上 記 1 ~ 4 ・ 5 イ ・ 6 ・ 9 イ を 含 む も の)	2		3	5
	ロ	複 合 用 途 防 火 対 象 物 (16 イ 以 外 の 複 合 用 途 防 火 対 象 物)				
16の2		地 下 街				
16の3		建築物の地階((16の2)項に掲げるものの各階を除く。)で連続して地下道に面して設けられたものと当該地下道とを合わせたもの((1)項から(4)項まで、(5)項イ、(6)項又は(9)項イに掲げる防火対象物の用途に供される部分が存するものに限る。)				
17		重 要 文 化 財				
18		ア ー ケ ー ド				
19		市 町 村 長 の 指 定 す る 山 林				
20		総 務 省 令 で 定 め る 舟 車				
合 計			64	2	5	71

(3) 防火管理者選任状況

(平成29年3月31日現在)

防火対象物の区分		選任者数	
1	イ	劇場・観覧場	1
	ロ	公会堂・集会場	33
2	イ	キャバレー等	
	ロ	遊技場	3
	ハ	性風俗関連店舗	
	ニ	カラオケボックス等	6
3	イ	待合・料理店	
	ロ	飲食店	42
4		百貨店・メーカーショップ	81
5	イ	旅館・ホテル	4
	ロ	寄宿舎・共同住宅	142
6	イ	病院・診療所	20
	ロ	老人短期入所施設等	29
	ハ	老人デイサービスセンター等	36
	ニ	幼稚園・養護学校等	9
7		学校等・各種学校	28
8		図書館・博物館	1
9	イ	蒸気浴場等	1
	ロ	公衆浴場	16
10		車両の停車場等	
11		神社・寺院・教会	18
12	イ	工場・作業場	19
	ロ	テレビスタジオ等	
13	イ	自動車庫	
	ロ	飛行機等の格納庫	
14		倉庫	4
15		事務所等	38
16	イ	複合用途防火対象物 (上記1～4・5イ・6・9イを含むもの)	163
	ロ	複合用途防火対象物 (16イ以外の複合用途防火対象物)	20
16の2		地下街	
16の3		建築物の地階((16の2)項に掲げるものの各階を除く。)で連続して地下道に面して設けられたものと当該地下道とを合わせたもの((1)項から(4)項まで、(5)項イ、(6)項又は(9)項イに掲げる防火対象物の用途に供される部分が存するものに限る。)	
17		重要文化財	
18		アーケード	
19		市町村長の指定する山林	
20		総務省令で定める舟車	
		合計	714

(4) 月別防火対象物竣工検査件数

(平成28年度)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1	イ					1								1
	ロ					2	1		1	2			1	7
2	イ													
	ロ													
	ハ													
	ニ													
3	イ													
	ロ		1	1				2	1					5
4						1	1	2	3	3	2	1		13
5	イ				1									1
	ロ	4	6	1	2	2	2	3		5	1	2	4	32
6	イ	1		2	2	1		1						7
	ロ							1	1			1	2	5
	ハ			2		5	1		1		1	2	3	15
	ニ													
7					2		1						3	
8														
9	イ													
	ロ													
10														
11														
12	イ		2			3		4	6		3	4	6	28
	ロ													
13	イ													
	ロ													
14				2		1	1	4	2	1	2	1	14	
15		2		1	4		2	2	2	1	1	2	2	19
16	イ	1		1		2	1	2	2	5	3	1	3	21
	ロ	2		1							1			4
16の2														
16の3														
17														
18														
19														
20														
合 計		10	9	9	11	19	9	19	21	18	13	15	22	175

(5) 各種届出状況

◇ 消防法関係届出状況

(平成28年度)

防火対象物点検結果報告書	消防用設備等（特殊消防用設備等）点検結果報告書	工事整備対象設備等着工・設計届出書	消防用設備等（特殊消防用設備等）設置届出書	消防用設備等の緩和等の届出書	防火管理者選任（解任）届出書	消防計画作成（変更）届出書	LP・アセ・毒劇物等貯蔵届出書	合計
29	696	265	388	10	162	155	3	1,708

◇ 市条例関係届出状況

(平成28年度)

防火対象物使用開始（変更）届出書	炉・ボイラー・サウナ等設置届出書	変電設備設置届出書	発電設備設置届出書	蓄電池設備設置届出書	少量危険物貯蔵等届出書	指定可燃物取扱い等届出書	その他	合計
229	7	25	5	3	9	1	5	284

(6) 防火優良認定証表示状況

(平成29年3月31日現在)

防火対象物	防火対象物定期点検報告対象物数	防火優良認定証表示対象物数
劇場・観覧場	1	0
公会堂・集会場	5	0
遊技場	1	1
飲食店	2	0
百貨店・マーケット	14	3
病院	4	2
福祉施設等	7	0
幼稚園	3	1
公衆浴場	1	0
複合用途防火対象物	16	2
合計	54	9

危険物・広報

(1) 危険物許可施設状況

(平成29年3月31日現在)

施設別		指定数量の倍数								合計
		5倍以下	5倍超～10倍以下	10倍超～50倍以下	50倍超～100倍以下	100倍超～150倍以下	150倍超～200倍以下	200倍超～1000倍以下	1000倍を超えるもの	
製造所										0
貯蔵所	屋外貯蔵所									0
	屋内貯蔵所	20	6	2						28
	屋外タンク貯蔵所	1								1
	屋内タンク貯蔵所	4	1							5
	地下タンク貯蔵所	11	1	12	2					26
	移動タンク貯蔵所	12	2	8	5					27
	簡易タンク貯蔵所	1								1
取扱所	給油取扱所		3	7	5	4	3	13		35
	第1種販売取扱所									0
	第2種販売取扱所									0
	移送取扱所									0
	一般取扱所	10	9							19
合計		59	22	29	12	4	3	13	0	142

(2) 危険物施設別事務処理状況

(平成28年度)

施設別		総計	製造所	屋外貯蔵所	屋内貯蔵所	貯蔵タンク所	貯蔵タンク所	貯蔵タンク所	地下貯蔵タンク所	移動貯蔵タンク所	簡易貯蔵タンク所	給油取扱所	第一種販売所	第二種販売所	移送取扱所	一般取扱所
許可件数	設置	1										1				
	変更	1										1				
完成検査	設置	2			1							1				
	変更	1										1				
廃止届		4			1					2						1
仮使用承認		1										1				
予防規程	制定															
	変更	1										1				
軽微な変更届		14										14				
立入検査施設数		56				2		4	17			31				2
タンク検査	水張	33				1										32
	水圧	4														4

* 移動タンク貯蔵所の常置場所の変更で他市からの転入は許可件数の設置に計上するものとする。

* 移動タンク貯蔵所の常置場所の変更で他市への転出は廃止に計上するものとする。

(3) 各種危険物届出状況

(平成28年度)

届 出 内 容	件 数
製造所等設置者の氏名等変更届出書	10
製造所等譲渡引渡届出書	1
保安監督者選任（解任）届出書	3
製造所等品名・数量・倍数変更届出書	
製造所等休止届出書	1
製造所等災害発生届出書	1
定期圧力点検結果報告書	1
仮貯蔵・仮取扱い届出書	
少量危険物等タンク検査申請書	2
合 計	19

(4) 圧縮アセチレンガス等・少量危険物・指定可燃物等施設数

(平成29年3月31日現在)

圧縮アセチレンガス等						少量危険物		指定可燃物等
圧縮アセチレンガス	無水硫酸	液化石油ガス	生石灰	毒物	劇物	少量危険物	移動タンク	
8		128		3	7	186	11	27

(5) 広報実施状況

(平成28年度)

期間	種別	回数等	対象	活動内容
通 年	巡回広報宣伝	10回	市内全域	婦人防火クラブと合同で市内巡回広報を実施し火災予防を啓発したもの。
	防火防災研修会の開催	1回	松原市婦人防火クラブ	防災研修施設での防災研修会を開催し、防災対策を広報したもの。
	防火防災訓練指導	7回	防火防災訓練参加者	炊き出し訓練等を指導したもの。
	市民パレードに伴う防火パレード	1回	市民	市民まつりにおける市民パレードに伴い、幼年消防クラブと合同で、パレードを行い火災予防を啓発したもの。
	防災に関する広報誌の発行	3,600冊	松原市内事業所 町会等	事業所・官公庁・町内会自治会に対し、防災に関する情報の提供。
	大型ビジョンによる広報	1回	市民	大型店舗や官公庁で、火災予防に関する映像を放映したもの。
	防火図画	1回	市内の小・中学校の 児童及び生徒	児童及び生徒が防火図画を作成する過程で、火災予防について関心を深めるとともに、防火ポスターとして市内各所に掲示したもの。
火 災 予 防 運 動 に 伴 う 広 報 活 動	巡回広報宣伝	8回	市内全域	火災予防運動に伴い婦人防火クラブと合同で、市内巡回広報宣伝活動を実施したもの。
	防火教室	4回	幼稚園・保育園	防火ぬりえを通して火災予防の大切さを指導したもの。
	防火パレード	2回	市内全域	幼年消防クラブと合同でパレードを行い火災予防を啓発したもの。
	広報啓発グッズ配布	8回	市内全域	婦人防火クラブと合同で駅前や大型店舗にて火災予防に関する広報啓発グッズを配布したもの。
	懸垂幕・横断幕・防火のぼりの掲出	27箇所	市内全域	大型店舗や官公庁に掲出し、火災予防を啓発したもの。
	大型店舗における店内放送による広報	20店舗	市内全域	大型店舗10箇所で火災予防に関する店内放送を実施したもの。
	防火ポスターの配布	1000枚	松原市内事業所 町会等	防火ポスターを事業所・官公庁・町会自治会に配布したもの。

(6) 幼年消防クラブの状況

◇ 現況

(平成29年3月31日現在)

クラブ結成園名	クラブ員数	結成年月日
私立星の光幼稚園	195人	昭和59年6月1日
私立松原ひかり幼稚園	64人	昭和61年6月6日
市立松原西幼稚園	32人	平成28年6月10日
認定こども園宮前つばさ幼稚園	53人	平成22年5月13日

◇ 活動状況

(平成28年度)

実施月	活動内容
平成28年6月	幼年消防クラブ発会式(全園)
平成28年6,7月	花火教室(全園)
平成28年9月	防火写生会(星の光幼稚園)
平成28年10,11,12月	防火パレード(松原ひかり幼稚園) 避難訓練及び通報訓練(全園)
平成29年1,2月	防火豆まき(全園) 感謝状贈呈式 (市立松原西幼稚園・認定こども園宮前つばさ幼稚園)
平成29年3月	火災予防運動イベント及び感謝状贈呈式(松原ひかり幼稚園) 防火パレード及び感謝状贈呈式(星の光幼稚園)

(7) 婦人防火クラブの状況

◇ 現況

(平成29年3月31日現在)

ク ラ ブ 名	クラブ員数	結 成 年 月 日
松原市婦人防火クラブ連合会	196人	昭和46年11月1日

◇ 各地区婦人防火クラブ名及び人数

(平成29年3月31日現在)

ク ラ ブ 名	クラブ員数	結 成 年 月 日
三宅地区婦人防火クラブ	23人	昭和46年11月1日
恵我地区婦人防火クラブ	13人	昭和46年11月1日
松原地区婦人防火クラブ	27人	昭和46年11月1日
新町地区婦人防火クラブ	12人	平成 7年 7月25日
天美地区婦人防火クラブ	76人	平成 7年11月30日
松原南地区丹南婦人防火クラブ	17人	平成 9年 5月26日
恵我別所地区婦人防火クラブ	28人	平成18年 4月 1日

◇ 活動状況

(平成28年度)

実施月	活動内容
平成28年 4月	1. 第1回 役員会の開催
平成28年 5月	1. 総会の開催 2. 阿保自治会防災訓練に参加 (阿保公民館) 3. 大阪府婦人防火クラブ連絡協議会総会に参加 (大阪府災害対策本部会議室)
平成28年 6月	1. 地域防災ネットワークプロジェクト訓練に参加 (天美小学校) 2. 地域防災ネットワークプロジェクト訓練に参加 (恵我南小学校)
平成28年 7月	1. 第2回 役員会の開催 2. 大阪府婦人防火クラブ連絡協議会代表者研修会 (大阪府災害対策本部会議室)
平成28年 8月	1. まつばら市民まつりに参加 (住宅用火災警報器設置促進及び維持管理広報活動)
平成28年 9月	1. 第3回 役員会の開催 2. 地域防災ネットワークプロジェクト訓練に参加 (河合小学校)
平成28年10月	1. 恵我連合町会防災訓練に参加 (第四中学校) 2. 大阪府婦人防火クラブ連絡協議会役員会に参加 (大阪府災害対策本部会議室) 3. 社会研修 (大阪市消防局水上消防署)
平成28年11月	1. 秋季全国火災予防運動に参加 (出陣式及び市内全域の巡回広報並びに市内主要駅前等での広報資材の配布・市内一円に防火ポスターを掲示) 2. 三宅町会連合防災訓練に参加 (三宅小学校)
平成28年12月	1. 第4回 役員会の開催 2. 大阪府婦人防火クラブ連絡協議会指導者研修会に参加 (大滝ダム 学べる防災センター)
平成29年 1月	1. 消防出初式に参加 (大和川西運動広場) 2. 大阪府婦人防火クラブ連絡協議会・大阪府婦人防火クラブ大会に参加 (大阪府立男女共同参画・青少年センターホール)
平成29年 2月	1. 第5回 役員会の開催 2. 普通救命講習会の受講 (松原市消防本部4階体力錬成室)
平成29年 3月	1. 春季全国火災予防運動に参加 (出陣式及び巡回広報並びに防火イベントでの広報活動・各地区巡回広報の実施。市内一円に防火ポスターを掲示) 2. 市防災訓練に参加 (市民運動広場)
通年	火災予防の広報活動(市内全域)

(8) 保安3法施設状況

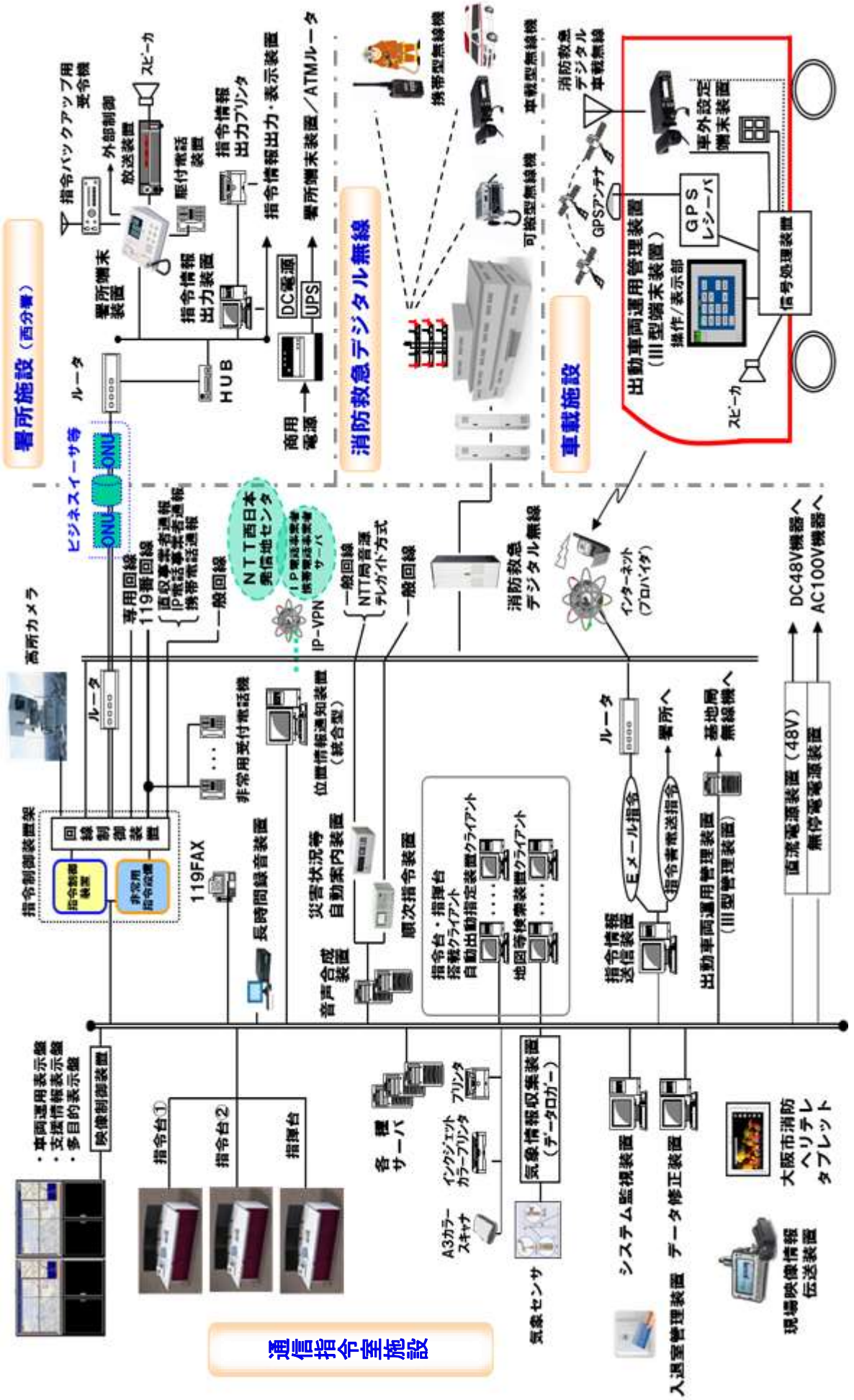
(平成29年3月31日現在)

法令区分	施設区分		施設数	
火薬類取締法	販売所		0	
	火薬庫外貯蔵庫		2	
高圧ガス保安法	高圧ガス製造者	一種	一般則	2
			液石則	1
			冷凍則	3
	高圧ガス製造者	二種	一般則	27
			液石則	1
			冷凍則	26
	高圧ガス貯蔵所	一種	0	
		二種	8	
	特定高圧ガス消費事業所			2
	高圧ガス販売事業者			35
容器検査所			2	
液化石油ガス法	液化石油ガス販売事業者		8	
	液化石油ガス保安機関		8	
	液化石油ガス特定供給設備		2	
	特定液化石油ガス設備工事事業者		7	

通信

(1) 消防通信指令システム図

平成 29 年 3 月 31 日現在



(2) 通信指令機器等

(平成29年3月31日現在)

名 称	数 量 ・ 規 格 等
指 令 装 置	1式 (指令台《3画面構成》2台、署所端末装置等)
表 示 盤	2面 (55インチ4面構成液晶ディスプレイ制御装置等)
無 線 統 制 台	1台 (指令台同等機能《3画面構成》)
指 令 電 送 装 置	1式 (指令情報送信装置、指令情報出力装置等)
気 象 情 報 収 集 装 置	1式
災 害 状 況 等 自 動 案 内 装 置	1台
順 次 指 令 装 置	1台
音 声 合 成 装 置	1式
出 動 車 両 運 用 管 理 装 置	1式
シ ス テ ム 監 視 装 置	1式
電 源 設 備	1式 (無停電電源装置 本部・署所用、直流電源装置等)
ネ ッ ト ワ ー ク 装 置	1式 (コアスイッチ、アクセススイッチ等)
統 合 型 位 置 情 報 通 知 シ ス テ ム	1式
表 示 盤 端 末	1式
情 報 共 有 シ ス テ ム	1式 (Webサーバー1台、情報共有端末4台等)
支 援 情 報 シ ス テ ム	1式 (支援情報制御装置等)
高 所 監 視 I P カ メ ラ	1式 21倍ズームレンズ
非 常 用 補 助 電 話	6式 無給電タイプ
消 防 職 員 / 消 防 団 指 令 シ ス テ ム	1式 e-mail 指令装置
車 庫 監 視 カ メ ラ	1式 本部:6 西分署:6
緊 急 地 震 速 報 等 の 受 信	2式 J-A L E R T (本部:1 西分署:1)
サイレン吹鳴装置	1式 6分団(端末5ヶ所)
駆 け 付 け 電 話 装 置	1式 西分署:1
現 場 映 像 情 報 電 送 装 置	1式 可搬
車 庫 等 監 視 モ ニ タ ー	2式 天吊り型 42インチ液晶ディスプレイ
入 退 室 管 理 装 置	2式 指令室:2 指令機械室:1
大 阪 市 消 防 局 ヘ リ テ レ 映 像 閲 覧 用 タ ブ レ ッ ト	2式 タブレット(X i 対応)
災 害 情 報 メール 配 信 シ ス テ ム	1式 (PC 1 台)
消 防 団 用 F A X	1台
大 阪 府 防 災 行 政 無 線 設 備	1式 (一斉指令システム・一斉受令用パソコン・防災専用FAX)
大 阪 府 医 療 機 関 情 報 シ ス テ ム	1式 端末装置
松 原 市 地 域 防 災 無 線 設 備	1台
E m - N e t	1式

(3) 無線機器・設備の配置及び使用無線波

(平成29年3月31日現在)

署所	呼出名称	種別	出力	車載車両等
本	まつしょうほんぶ	基地局	10W	通信指令室
	まつしょうほんぶ	固定局	10W	
	ぼうさいまつばらしょうぼう	固定局	1W	
	まつしょうこうほう 1	陸上移動局	10W	広報車1
	まつしょうこうほう 2	〃	10W	広報車2
	まつしょうこうほう 3	〃	10W	広報車3
	まつしょうこうほう 4	〃	10W	広報車4
	まつしょうしき 1	〃	10W	指揮車
	まつしょうえすてい 2	〃	10W	ポンプ車2
	まつしょうえすてい 3	〃	10W	ポンプ車3
	まつしょうえすてい 5	〃	10W	ポンプ車5
	まつしょうたんく 1	〃	10W	タンク車
	まつしょうはしご 1	〃	10W	梯子車1
	まつしょうきゅうじょ 1	〃	10W	救助工作車
	まつしょうしえん 1	〃	10W	支援車
	まつしょうきゅうきゅう 2	〃	10W	救急車2
	まつしょうきゅうきゅう 3	〃	10W	救急車3
	まつしょうきゅうきゅう 5	〃	10W	救急車5
	まつしょう 301	〃	5W	携帯無線
	まつしょう 302	〃	5W	
	まつしょう 303	〃	5W	
	まつしょうしき 100	〃	5W	
まつしょうちょうさ 100	〃	5W		
まつしょうほんぶ 100	〃	5W		
まつしょうかがく 100	〃	5W		
まつしょうきゅうじょ 100	〃	5W		
まつしょうきゅうきゅう 100	〃	5W		
まつしょうきゅうきゅう 200	〃	5W		
まつばらしきほんぶ 1	〃	1W	署活系	
まつばらしき 10	〃	1W		
まつばらしき 11	〃	1W		
まつばらしき 12	〃	1W		
まつばらちょうさ 10	〃	1W		
まつばらちょうさ 11	〃	1W		
まつばらほんぶ 10	〃	1W		
まつばらほんぶ 11	〃	1W		
まつばらほんぶ 12	〃	1W		
まつばらほんぶ 13	〃	1W		
まつばらかがく 10	〃	1W		
まつばらかがく 11	〃	1W		
まつばらかがく 12	〃	1W		
まつばらかがく 13	〃	1W		
まつばらきゅうきゅう 10	〃	1W		
まつばらきゅうきゅう 11	〃	1W		
まつばらきゅうきゅう 12	〃	1W		
まつばらきゅうきゅう 20	〃	1W		
まつばらきゅうきゅう 21	〃	1W		
まつばらきゅうきゅう 22	〃	1W		

西 分 署	まつしょうにし	陸上移動局	10W	事務所
	まつしょうえすてい 1	〃	10W	ポンプ車1
	まつしょうえすてい 4	〃	10W	ポンプ車4
	まつしょうはしご 2	〃	10W	梯子車2
	まつしょうきゅうきゅう 1	〃	10W	救急車1
	まつしょうきゅうきゅう 4	〃	10W	救急車4
	まつしょうにしぼんぷ 100	〃	5W	携帯無線
	まつしょうにしきゅうきゅう 100	〃	5W	
	まつしょうにしきゅうきゅう 200	〃	5W	
	まつばらにしぼんぷ 10	〃	1W	署活系
	まつばらにしぼんぷ 11	〃	1W	
	まつばらにしぼんぷ 12	〃	1W	
	まつばらにしきゅうきゅう 10	〃	1W	
	まつばらにしきゅうきゅう 11	〃	1W	
	まつばらにしきゅうきゅう 12	〃	1W	
	まつばらにしきゅうきゅう 20	〃	1W	
	まつばらにしきゅうきゅう 21	〃	1W	
	まつばらにしきゅうきゅう 22	〃	1W	
そ の 他	まつしょう 1	陸上移動局	5W	
	まつしょう 2	〃	5W	
	まつしょう 3	〃	5W	
	まつしょうかはん 10	〃	10W	可搬無線(災害対策本部用)
	まつしょう 401	〃	5W	携帯無線(予備)
	まつしょう 402	〃	5W	
	まつしょうぼうさい 1	〃	10W	アナログ無線
	まつしょうぼうさい 2	〃	5W	携帯無線(アナログ)
	まつしょうぼうさい 3	〃	5W	
まつしょうぼうさい 4	〃	5W		

無線波 (デジタル)	消防波	救急波	主運用波
	統制波1	統制波2	統制波3
	地域防災波	府防災行政波	
無線波 (アナログ)	共通波	所轄波	消防団波
	防災相互波		

(4) 指令台収容回線

(平成29年3月31日現在)

回線名	容量	実装	回線名	容量	実装
119番回線	10	5	内線	4	1
携帯119番回線	4	2	庁内放送回線	1	1
携帯119番転送及び転送受付回線	4	2	指令回線	4	2
専用線	4	3	市民案内加入回線	12	10
局線	4	2	無線回線	6	6

(5) 月別・通報種類別・災害受付件数及び災害案内着信件数

(平成28年中)

	回 線 種 別										着信総数 (注②)	その他 (注③)	災害情報 案内 着信件数 (注④)
	固定電話 119番	携帯電話 119番	I P 電話 119番	NEXCO 西日本	阪神高速	福祉緊急 通報装置	警察電話	加入電話 (注①)	救急安心 センター	F A X 通報			
1月	341	339	271	0	0	20	38	30	4	0	1,043	35	551
2月	265	375	219	1	0	10	26	40	5	0	941	38	397
3月	329	374	252	0	0	24	20	37	2	0	1,038	35	481
4月	447	322	204	0	0	17	31	22	2	0	1,045	25	372
5月	419	365	211	0	1	13	31	27	3	0	1,070	19	579
6月	332	375	226	0	0	18	21	36	1	0	1,009	31	447
7月	308	421	242	1	1	17	39	22	3	0	1,054	39	352
8月	332	430	233	0	0	19	38	38	3	0	1,093	25	434
9月	320	362	207	1	2	13	27	21	3	0	956	28	673
10月	298	374	205	0	0	13	30	33	3	0	956	40	724
11月	337	356	213	1	0	2	48	33	3	0	993	33	489
12月	326	452	270	1	1	17	41	35	6	0	1,149	32	662
合 計	4,054	4,545	2,753	5	5	183	390	374	38	0	12,347	380	6,161

注①：「加入電話」とは、消防本部の代表電話(一般加入電話)へ通報された件数です。

注②：重複通報や誤報等があるため、実際の災害出場件数と通報件数は異なります。

注③：「その他」とは、消防署への駆け付け、消防職員の自己覚知等によるものや発生場所が松原市でないため管轄する他の消防本部(局)へ通報を転送したものの合計です。

注④：「災害情報案内」とは、松原市内の災害発生状況を自動音声でお知らせするものです。電話番号は「072-332-5119」です。

(6) 松原市内から「救急安心センターおおさか」への問い合わせ件数等

(平成28年中)

	内 容 別 の 着 信 件 数						合計着信件数
	医療機関相談	救急医療相談	要救急車			その他	
				出場件数	搬送人員		
1月	150	114	4	3	3	6	270
2月	148	84	5	5	5	4	236
3月	136	124	2	2	2	6	266
4月	109	94	2	2	2	9	212
5月	141	139	3	3	3	5	285
6月	114	107	1	1	0	10	231
7月	141	131	3	3	3	11	283
8月	157	111	3	3	3	9	277
9月	123	86	3	3	3	8	217
10月	111	98	3	3	3	7	216
11月	128	134	3	3	3	5	267
12月	185	119	6	6	6	4	308
合 計	1,643	1,341	38	37	36	84	3,068

※ 「救急安心センターおおさか」とは、急な病気やけがで対応に迷ったとき、応急手当のアドバイスや救急病院の案内等を看護師・相談員が24時間365日対応する機関です。緊急時には看護師・相談員より救急要請を受け、救急出動させます。

電話番号は「#7119」または「06-6582-7119」です。

※ この表は「救急安心センターおおさか」から送られてきた件数を集計したものです。

※ 「医療機関相談」とは、症状に応じた近隣救急病院を案内するものです。

※ 「救急医療相談」とは、緊急性判断や応急手当のアドバイスを行うものです。

※ 「要救急車」とは、相談員等が救急車による搬送が必要と判断したものです。

※ 「その他」とは、救急医療相談以外の問合せや誤ダイヤル、悪戯等です。

敬 備

(1) 消防用資器材保有状況

(平成29年3月31日現在)

品名	備別	合計	本署											西分署						
			ポンプ車2	ポンプ車3	ポンプ車5	タンク車	救助工作車	梯子車1 40m	指揮車	支援車	救急車2	救急車3	救急車5	保管	ポンプ車1	ポンプ車4	梯子車2 15m	救急車1	救急車4	保管
			かぎ付はしご	4					1	1						1				
二連はしご	4		1	1									1		1					
三連はしご	4				1	1							1							1
折りたたみはしご	2	1												1						
ワイヤはしご	1					1														
空気式救助マット	1						1						1							
救命索発射装置(銃)	1						1													
サバイバースリング	2						1													1
救助用縛帯	12		1	1	2	6							1		1					
平担架	1												1							
バスケット担架	5				1	1	1						1							1
バックボード	11				1	1				1	1	1	3					1	1	1
ハーネスボード	2												1							1
ロープバッグ	37	1	1	1	3	9							16	1	1	1				3
重量物排除器具																				
油圧ジャッキ	16	1	1	1	2	2	1	1					3	1	1					2
可搬ウインチ	3				1	1														1
マンホール救助器具	2					1							1							
マット型空気ジャッキ	2					1							1							
大型油圧スプレッダー	2					1							1							
切断器具																				
コンビネーションツール	4				1	1							1		1					
エンジンカッター	14	1	1	1	1	1	1						4	1	1					2
ガス溶断器	1												1							
チェーンソー	4					1							2							1
鉄線カッター	17	1	1	1	1	1	1	1		1	1	1	3		1	1	1	1	1	
空気鋸	1					1														
大型油圧切断機	3					1							2							
空気切断機	2												2							
充電式鋸	3		1		1										1					
ガラスカッター	9					2		1		1	1	1	1					1	1	
ベルトカッター	7					2				1	1	1						1	1	
破壊器具																				
万能斧(大)	13		1	1	1	1	1	1		1	1	1		1	1		1	1	1	
万能斧(小)	21	3	3	2	3	3	1	1							2	2				1
両口ハンマー	1					1														
携帯用コンクリート破壊器具	1					1														
削岩機	3					1							1							1
ハンマドリル	2												1							1
電気ドリル	2					1							1							
空気式ドリル	1												1							
斧	8	1	1		1	1	1						1	1	1					
かきや	6	1	1		1								1	1	1					
つるはし	7	1	1		1	1							1	1	1					
とび口	25	2	3	3	2		2						2	2	3	2				4
伸縮性小型破壊器具	2		1												1					
検知測定器具																				
4ガス濃度測定器	5		1			3									1					
放射線測定器	8					4							4							
ポケット線量計	15					9							6							
呼吸保護器具																				
空気呼吸器	54	2	3	3	4	4	5	1					24	3	3	2				
酸素呼吸器	2												2							
防塵マスク	15		3										12							
送排風機	2				1	1														
エアライン	1												1							
簡易呼吸保護用マスク	20	2	2	2	3	3	3							2	3					

品名		配備別	合計	本署										西分署								
				ポンプ車2	ポンプ車3	ポンプ車5	タンク車	救助工作車	梯子車1 40m	指揮車	支援車	救急車2	救急車3	救急車5	保管	ポンプ車1	ポンプ車4	梯子車2 15m	救急車1	救急車4	保管	
隊員保護用器具	耐電手袋		9		1			2	3						1			2				
	防塵メガネ		48											3	3	3	15			3	3	18
	防毒マスク		32											3	3	3	17			3	3	
	化学防護服 (陽圧式除く)		12					6									6					
	陽圧式化学防護服		4														4					
	耐熱服		4														4					
	耐電衣		2					2														
	耐電ズボン		2					2														
	耐電長靴		2					2														
水難救助用器具	潜水器具一式		4													4						
	スローバッグ		15					4								11						
	救命胴衣		42		4		4	8		2	6					11		4			3	
	救命浮環		16				1	2		1	5	1	1	1	1				1	1	1	
	救命ボート		2					1			1											
	船外機		2													2						
その他の救助用器具	投光器一式		14	1	1	1	1	1	1	1					1	1	3	1			1	
	強力ライト		11	1	1	1	1	2	1	2						1	1					
	携帯拡声器		11	1	2	1	1	1	1	1						1	1	1				
	緩降機		3					1	1							1						
	ロープ登降機		2					2														
	発電機		15	1	1	1	1	1	1							3	1	1	1		3	
	コードリール		15	1	1	1	1	1	1							5	1	1	1		1	
消火用器具	C A F S用ノズル		11		2	3	2		1						1		2					
	クアドラ フオグノズル		14	1	3	2	3		1						1	2	1					
	ダブルコントロール ノズル		2				1								1							
	無反動ノズル		7	2											2	1		2				
	フオグガン		2	1												1						
	管銃筒先		2	1												1						
	泡対応ノズル		8	1	1	1	2		1							1	1					
	ターレット放水銃		5	1	1											1	1				1	
	ブリッツファイア 放水銃		1				1															
	クロスファイア 放水銃		1				1															
	分岐管		10	1	2	2	1		1							1	2					
	ディスクストレナ		4		1	1	1										1					
	可倒式消火栓 スタンドパイプ		4		1	1	1										1					
	ホースブリッジ		18	2	2	2	2		3							2	2	2			1	
	ホースカー		6	1	1	1	1										1	1				
ホースバッグ		15	2	1	1			1							4	1	1	1		3		
サルベージシート		20		1	1	1	2	2	2						9						2	

※C A F S : 圧縮空気泡消火装置 (Compressed Air Foam System)

(2) 消防車両の配置

(平成29年3月31日現在)

区分		車	メ	車	排	年
配置		名	ー	種	気	式
			カ		量	
			ー		(CC)	
消防本部	予防課	広報車 1	ダイハツ	ハイゼット	650	平成18年1月
		広報車 2	日産	プリメーラ	1,830	平成9年12月
		広報車 3	トヨタ	ハイエース	1,990	平成6年7月
	総務課	広報車 4	ダイハツ	ハイゼット	650	平成12年2月
消防署	本署	ポンプ車2(予備)	日野	デュトロ	4,000	平成17年3月
		ポンプ車3 (CAFS付)	日野	デュトロ	4,000	平成29年2月
		ポンプ車5 (CAFS付)	日野	デュトロ	4,000	平成25年2月
		タンク車 (CAFS付)	日野	レンジャー	6,400	平成27年3月
		救助工作車	日野	レンジャー	7,960	平成15年3月
		梯子車1 (40m級)	日野	プロフィア	8,860	平成26年2月
		指揮車	日産	キャラバン	1,990	平成21年3月
		支援車	日産	アトラス	2,900	平成28年1月
		救急車2(予備)	トヨタ	ハイメディック	2,690	平成22年2月
		救急車3	トヨタ	ハイメディック	2,690	平成22年12月
	救急車5	トヨタ	ハイメディック	2,690	平成24年2月	
	西分署	ポンプ車1	日野	デュトロ	4,000	平成19年3月
		ポンプ車4 (CAFS付)	日野	デュトロ	4,000	平成26年3月
		梯子車2 (15m級)	日野	レンジャー	7,960	平成16年2月
		救急車1	トヨタ	ハイメディック	2,690	平成29年2月
救急車4		トヨタ	ハイメディック	2,690	平成26年12月	

※CAFS：圧縮空気泡消火装置 (Compressed Air Foam System)

(3) 消防水利

(平成29年3月31日現在)

消 火 栓			防 火 水 槽			そ の 他			
公 設	私 設	合 計	防火水槽	消防水利	合 計	プール	河川	池等	合 計
2,212	41	2,253	101	100	201	25	1	38	64

(4) 消火栓口径別数 (公設)

(平成29年3月31日現在)

75mm	100mm	150mm	200mm	250mm	300mm	350mm	400mm	500mm	合 計
300	768	451	526	1	136	6	23	1	2,212

(5) 消火薬剤保有状況

(平成29年3月31日現在)

種 別	区 分	合 計 (ℓ)	内 訳	
			車 両 積 載	備 蓄
合 成 界 面 活 性 剤		2,110	480	1,630
水 成 膜 泡 消 火 薬 剤		60	0	60

(6) 消防ホース保有状況

(平成29年3月31日現在)

署所別	区 分 径	合 計	内 訳	
			車 両 積 載	備 蓄
本 署	65mm	109	69	40
	40mm	76	34	42
西 分 署	65mm	54	39	15
	40mm	60	26	34
合 計	65mm	163	108	55
	40mm	136	60	76

(7) 消防活動状況

◇ 緊急活動

(平成28年中)

月別 区分	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合 計	出場延	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		台数	人員
火災に至らない事案	2		3	4	6	1	2	2	1	9	4	4	38	121	353
危険物の排除	10	4	5	6	7	3	4	7	2	4	6	10	68	195	588
風水害		1							1				2	3	10
警報設備の誤作動	6	2		2	3	1	1	3	5	2	4	1	30	63	199
誤報		1			2				1	2	1	3	10	32	99
虚報			1			1			2		2		6	12	37
管外応援							2			1		1	4	16	51
救急隊の支援	46	31	47	16	30	25	32	32	31	24	41	38	393	800	2,589
その他	1	2	1	1	1		1		1				8	18	53
合計	65	41	57	29	49	31	42	44	44	42	58	57	559	1260	3,979

◇ その他の活動

(平成28年中)

月別 区分	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合 計	出場延	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		台数	人員
署内訓練	42	21	26	67	64	69	64	37	38	20	29	36	513	130	3,100
地水利調査	18	63	7	7	9	19	15	45	33	13		2	231	228	758
中高層建築物調査		1											1	3	9
消防相談	4	1		6	8		4	2		5	2	3	35	38	128
巡回パトロール	2	3	5	6	5	6	11	4	10	24	57	104	237	237	761
屋台巡視			1		1		4	4	1	6	7		24	22	70
機関講習	21	25	8	25	22	9	10	11	9	3	6	5	154	154	312
市内広報			14	9							13	13	49	60	91
立入検査		7	4		5	13	17	11	7	7	2	3	76	76	249
合計	87	121	65	120	114	116	125	114	98	78	116	166	1,320	948	5,478

(8) 訓練指導状況

◇ 事業所関係 (項の区分は消防法施行令別表第1による) (平成28年中)

項	防火対象物	指導(回)	自主実施(回)	参加人員(人)	指導人員(人)
1	イ 劇場・観覧場	1	1	25	3
	ロ 公会堂・集会場	1	4	27	3
2	遊技場	0	0	0	0
	カラオケボックス	0	2	6	0
3	飲食店	5	22	174	17
4	百貨店・マーケット	2	28	673	7
5	イ 旅館・ホテル	2	1	35	7
	ロ 寄宿舎・共同住宅	10	4	398	28
6	イ 病院・診療所	3	19	697	11
	ロ 老人短期入所施設等	13	23	602	49
	ハ 老人デイサービスセンター等	34	44	6,121	106
	ニ 幼稚園・養護学校等	10	9	2,748	26
7	学校等・各種学校	10	6	11,017	39
9	ロ 公衆浴場	0	0	0	0
11	神社・寺院・教会	1	0	50	3
12	イ 工場・作業場	0	3	220	0
14	倉庫	1	1	53	3
15	事務所等	6	8	529	15
16	イ 複合用途防火対象物	23	44	1,622	70
	ロ イに掲げる複合用途防火対象物以外の複合用途防火対象物	0	0	0	0
合計		122	219	24,997	387

◇ その他 (平成28年中)

種別	実施数	参加人員	指導人員
地域防災ネットワークプロジェクト訓練	3	2,850	61
町会・自治会等	9	1,129	45
職業体験	4	24	42
防火口演	7	262	12
消防署見学	18	991	96

(9) 火災予防条例関係届出状況

(平成28年中)

種別	件数
道路工事届	47
水道工事届	38
火煙上昇届	26
煙火打ち上げ届	4
露店等開設届	24

火災

(1) 火災状況

◇ 月別火災状況

(平成28年中)

		累計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
出火件数	建物	30	2	4	3	2	2	2	2	4	3	1	3	2	
	車両	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	
	その他	21	1	0	0	1	2	1	5	0	0	11	0	0	
	爆発	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	53	3	4	3	3	4	3	8	4	3	12	4	2	
焼損床面積[m ²]		1,674	624	44	281	1	0	169	83	132	340	0	0	0	
焼損表面積[m ²]		344	172	25	51	7	4	11	0	72	0	0	2	0	
焼損棟数	全焼	5	1	0	1	0	0	1	1	1	0	0	0	0	
	半焼	4	1	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	
	部分焼	16	1	2	4	2	1	2	0	3	0	0	1	0	
	ぼや	15	0	3	2	1	1	0	1	1	1	1	2	2	
	計	40	3	5	7	3	2	3	2	6	3	1	3	2	
り災世帯数	全損	6	1	2	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	
	半損	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	
	小損	18	0	2	7	1	1	1	0	2	0	1	1	2	
	計	25	1	4	8	1	1	2	0	3	1	1	1	2	
り災人員数		66	2	8	30	3	4	2	0	7	1	1	2	6	
死傷者数	死者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	負傷者	10	0	2	4	1	0	2	0	0	0	0	0	1	
損害額 千円	建物	建築物	118,760	12,925	6,753	46,836	662	62	11,749	2,314	5,491	31,884	0	83	1
		収容物	28,327	7,191	949	4,694	14	0	358	7,772	283	6,724	8	333	1
	車両	1,476	620	0	0	0	0	0	201	0	175	0	480	0	
	その他	7,244	505	3	5,482	14	2	1,680	117	12	74	0	0	0	
	爆発	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	155,807	21,241	7,705	51,535	5,508	76	12,109	11,967	5,891	38,795	82	896	2	

◇ 過去10年間の火災状況

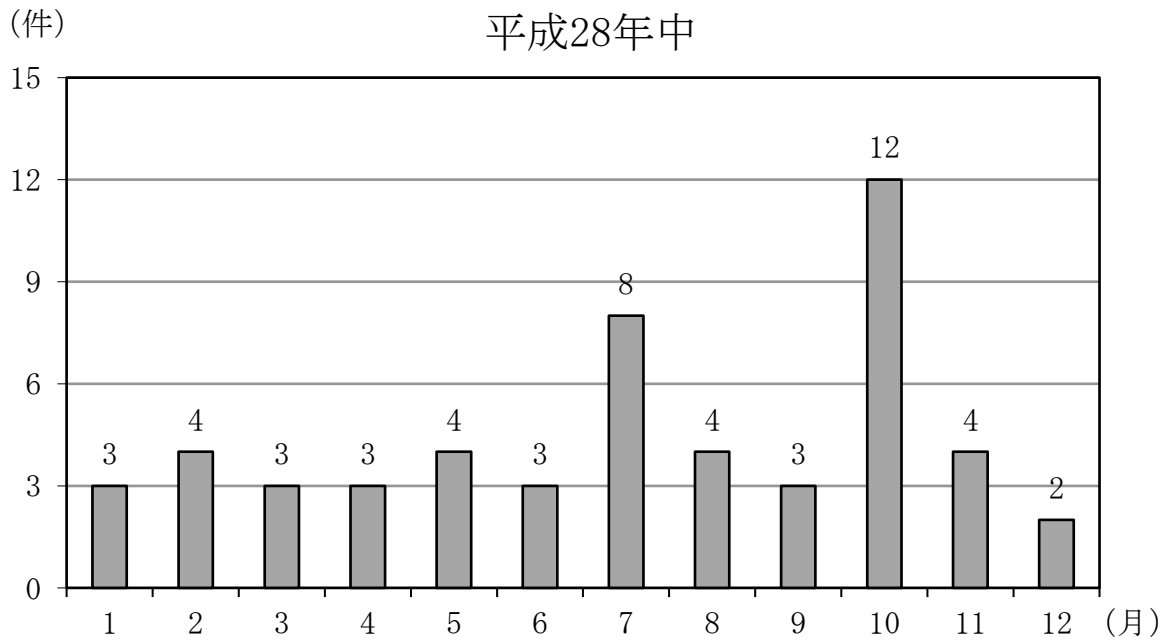
(各年中)

		平成 19年	平成 20年	平成 21年	平成 22年	平成 23年	平成 24年	平成 25年	平成 26年	平成 27年	平成 28年	
出火 件数	建物	35	31	28	27	29	19	32	16	21	30	
	車両	9	7	2	9	5	4	3	3	2	2	
	その他	7	4	13	10	20	5	5	5	9	21	
	爆発	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	51	42	43	46	54	28	40	24	32	53	
焼 損 床面積[m ²]		901	1,473	306	902	675	800	602	533	920	1,674	
焼 損 表面積[m ²]		335	422	128	117	172	121	90	116	125	344	
焼損 棟数	全焼	5	4	4	4	4	4	6	2	5	5	
	半焼	4	4	0	4	2	3	0	4	1	4	
	部分焼	23	21	11	14	15	10	15	14	11	16	
	ぼや	20	15	15	10	16	14	20	6	12	15	
	計	52	44	30	32	37	31	41	26	29	40	
り災 世帯数	全損	13	18	2	13	6	10	8	7	7	6	
	半損	2	0	0	1	0	4	1	1	3	1	
	小損	38	26	15	20	23	25	28	21	20	18	
	計	53	44	17	34	29	39	37	29	30	25	
り災人員数		125	95	40	82	64	94	91	49	67	66	
死傷 者数	死者	4	1	0	3	0	3	0	0	1	0	
	負傷者	6	11	8	14	7	3	9	5	9	10	
損害 額 千円	建 物	建築物	60,818	43,304	13,380	98,353	35,104	66,891	74,901	78,796	110,917	118,760
		収容物	55,291	24,275	9,717	30,613	7,705	16,810	29,573	19,040	31,461	28,327
	車両	618	363	556	1,188	2,160	387	897	1,333	1,982	1,476	
	その他	72	114	303	354	1,469	503	1,856	1,051	216	7,244	
	爆発	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	116,799	68,056	23,956	130,508	46,438	84,591	107,227	100,220	144,576	155,807	

※平成26年は昭和40年に松原市消防本部が発足して以来、最も出火件数が少なかった年である。

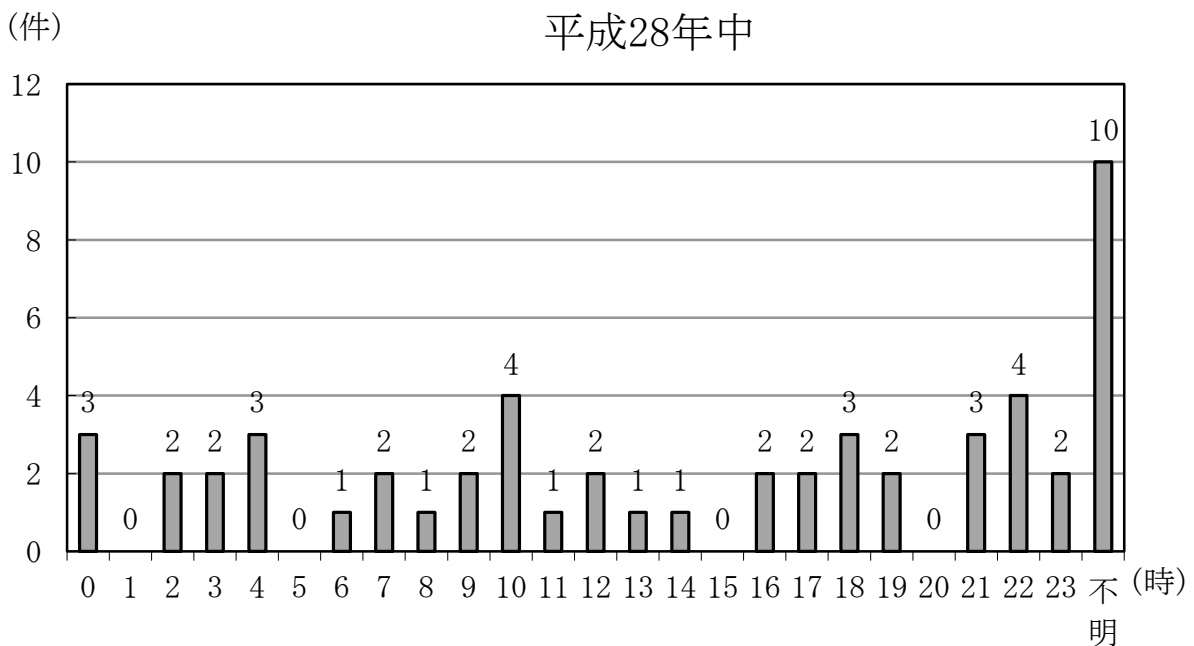
(2) 月別出火件数

平成28年は7月と10月に火災が多く発生した。



(3) 時間別出火件数

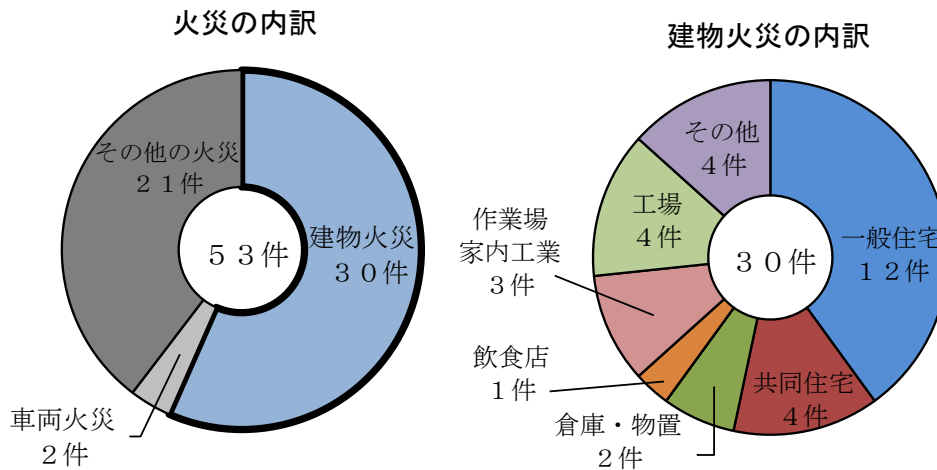
平成28年は10時台、22時台に火災が多く発生した。



(4) 火災種別及び建物用途別出火件数

平成28年の出火件数53件のうち建物火災(30件)が全体の約57%、一般住宅と共同住宅を合わせた住宅火災(16件)が出火件数全体の約30%、建物火災全体の約53%を占めている。

(平成28年中)



(5) 地区別、地域別出火件数

		平成28年		10年間(平成19年～平成28年)累計	
		出火件数	うち放火(疑い含む)	出火件数	うち放火(疑い含む)
松原地区	丹南			6	
	岡	5		19	4
	新堂			12	2
	立部	1	1	19	9
	上田	3	3	20	5
	阿保	8	6	24	9
	西大塚			5	3
	柴垣			1	
	田井城			11	2
	河合			5	2
	高見の里	2		17	6
	松ヶ丘	1	1	5	1
	西野々			6	
	計	20	11	150	43
天美地区	天美我堂	2	2	21	4
	天美東	4	1	26	12
	天美西	3	2	15	7
	天美南	2		18	7
	天美北	1		21	9
	計	12	5	101	39
恵我地区	大堀	3		15	1
	別所			20	5
	一津屋	1		10	2
	小川			11	1
	若林			3	1
	計	4		59	10
布忍地区	東新町	3	2	26	13
	南新町	2	1	18	3
	北新町	3	1	12	5
	計	8	4	56	21
三宅地区	三宅中	8	2	28	5
	三宅東			10	3
	三宅西	1		9	4
	計	9	2	47	12

(6) 過去10年間の死傷者の発生状況

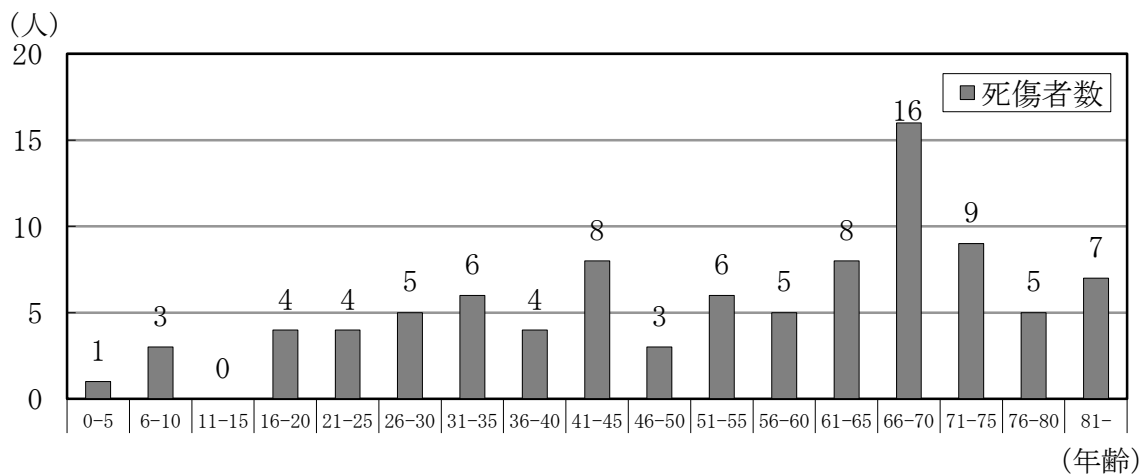
◇ 年別死傷者の発生状況

(各年中)

	死者	負傷者		
		重症	中等症	軽症
平成19年	4	0	3	3
平成20年	1	0	4	7
平成21年	0	1	2	5
平成22年	3	1	4	9
平成23年	0	1	2	4
平成24年	3	0	1	2
平成25年	0	1	2	6
平成26年	0	1	1	3
平成27年	1	0	2	7
平成28年	0	2	4	4

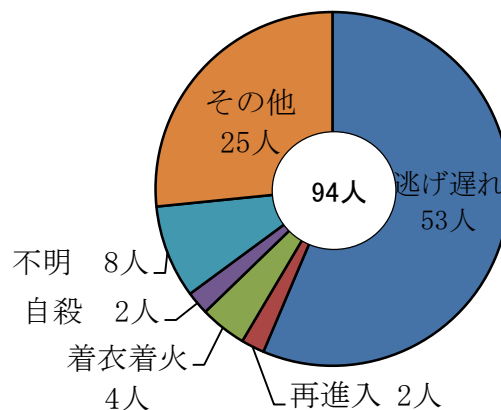
◇ 年齢別死傷者の発生状況

過去10年間(平成19年～平成28年)の火災による死傷者(94人)をみると、特に66歳～70歳の死傷者数が多くなっており、66歳以上の死傷者は37人で全体の約39%を占める。



◇ 経過別死傷者の発生状況

過去10年間(平成19年～平成28年)の死傷者(94人)を経過別にみると、約56%にあたる53人が逃げ遅れにより発生している。



※その他の内訳は消火活動中の負傷、避難中の負傷など。

(7) 過去10年間（平成19年～平成28年）の出火原因別出火件数

平成28年中の出火件数53件のうち、出火原因別にみると、放火(疑いを含む)が22件で全体の約42%、次いで、こんろと電灯・電話等の配線が各4件で全体の約8%となっている。

(各年中)

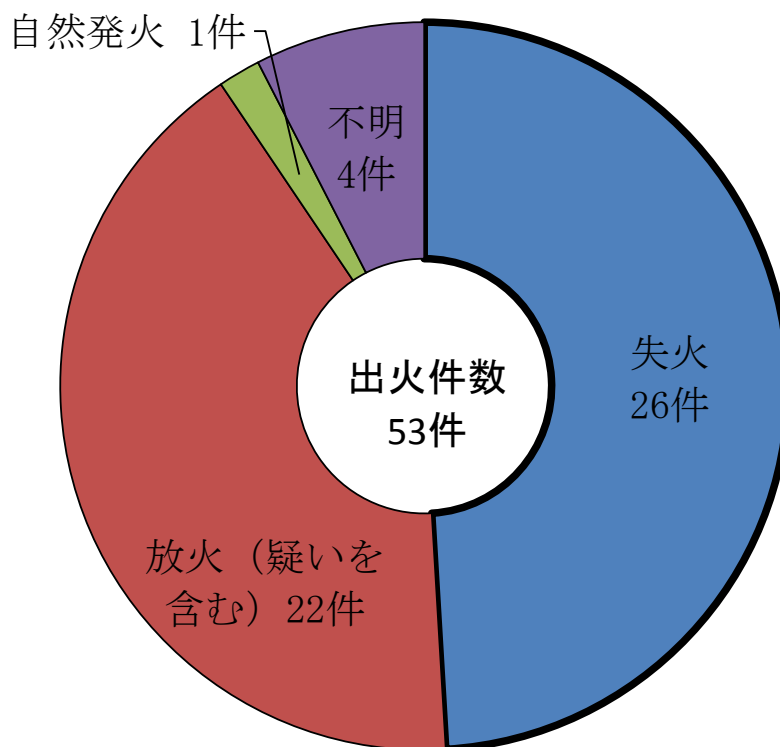
	平成 19年	平成 20年	平成 21年	平成 22年	平成 23年	平成 24年	平成 25年	平成 26年	平成 27年	平成 28年
放火(疑いを含む)	13	11	15	12	27	9	10	3	5	22
火 遊 び	3	1	1	1	1	0	0	0	1	1
た ば こ	4	9	11	4	4	3	2	4	4	3
こ ん ろ	5	6	4	7	6	3	10	2	5	4
か ま ど	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
風 呂 か ま ど	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
炉	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0
焼 却 炉	1	0	0	0	2	0	1	1	0	1
ス ト ー ブ	3	0	0	0	3	0	1	1	4	2
こ た つ	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ボ イ ラ ー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
煙 突 ・ 煙 道	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1
排 気 管	1	0	0	1	1	2	2	0	0	1
電 気 機 器	3	2	1	1	1	1	1	0	1	1
電 気 装 置	1	1	0	1	1	1	1	0	1	1
電灯・電話等の配線	4	0	1	1	1	1	2	0	2	4
配 線 器 具	0	2	2	3	1	1	2	1	2	1
内 燃 機 関	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0
マ ッ チ ・ ラ イ タ ー	1	1	0	0	0	0	0	2	0	1
た き 火	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
溶 接 機 ・ 切 断 機	1	1	0	0	0	1	0	3	0	0
灯 火	1	0	0	1	0	4	0	0	1	1
衝 突 の 火 花	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0
取 灰	0	0	2	0	0	0	0	1	0	1
火 入 れ	1	0	1	1	1	0	0	0	0	0
不 明	5	4	2	8	0	2	2	3	4	3
そ の 他	2	1	3	2	1	0	5	3	2	5
合 計	51	42	43	46	54	28	40	24	32	53

(8) 過去10年間（平成19年～平成28年）の主な出火原因

	平成19年		平成20年		平成21年		平成22年		平成23年	
出火件数	51件		42件		43件		46件		54件	
主な出火原因	放火 (疑いを含む)	13件	放火 (疑いを含む)	11件	放火 (疑いを含む)	15件	放火 (疑いを含む)	12件	放火 (疑いを含む)	27件
	こんろ	5件	たばこ	9件	たばこ	11件	こんろ	7件	こんろ	6件
	たばこ	4件	こんろ	6件	こんろ	4件	たばこ	4件	たばこ	4件
	電灯・電話等の配線	4件	/		/		/		/	

	平成24年		平成25年		平成26年		平成27年		平成28年	
出火件数	28件		40件		24件		32件		53件	
主な出火原因	放火 (疑いを含む)	9件	放火 (疑いを含む)	10件	たばこ	4件	放火 (疑いを含む)	5件	放火 (疑いを含む)	22件
	灯火	4件	こんろ	10件	放火 (疑いを含む)	3件	こんろ	5件	電灯・電話等の配線	4件
	たばこ	3件	たばこ	2件	溶接機 切断機	3件	たばこ	4件	こんろ	4件
	こんろ	3件	排気管	2件	/		ストーブ	4件	/	
	/		電灯・電話等の配線	2件	/		/		/	
	/		配線器具	2件	/		/		/	

(9) 失火による出火件数



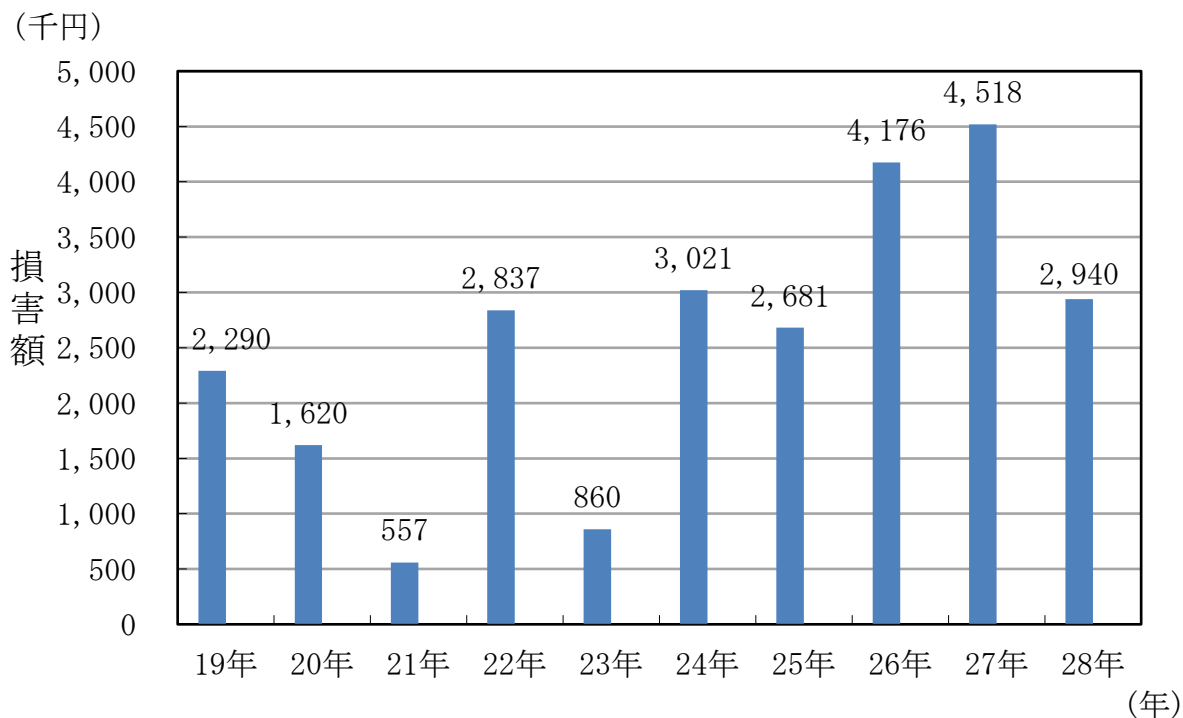
平成28年中の出火件数53件のうち、失火による出火件数は26件(約49%)であり、その多くは火気の手配の不注意や不始末から発生している。

(失火の内訳)

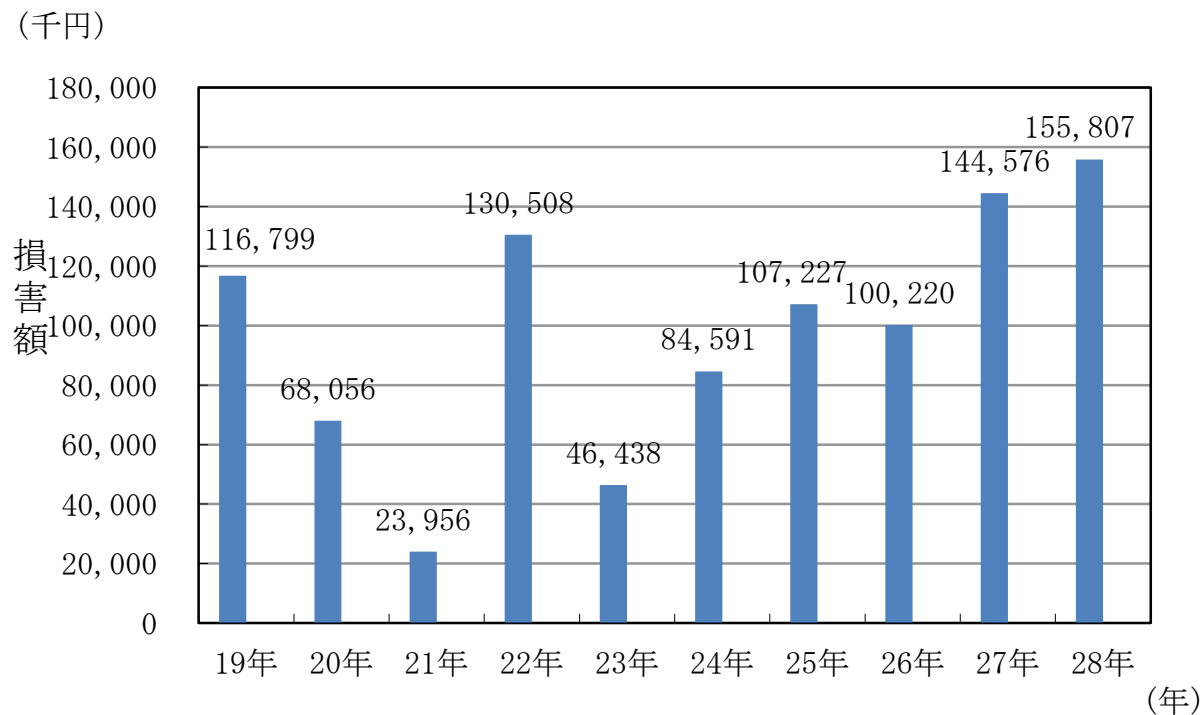
火源が転倒落下する	4件	不適當なところに捨て置く	2件
可燃物が動いて火源に触れる	3件	火遊び	1件
スパークする	3件	放置する、忘れる	1件
半断線により発熱する	2件	本来の用途以外の不適の用に用いる	1件
火源が動いて接触する	2件	摩擦により発熱する	1件
静電スパークが飛ぶ	2件	輻射を受けて発火する	1件
絶縁劣化による発熱	2件	火の粉が散る、遠くへ飛び火する	1件

(10) 過去10年間の火災による損害額の推移

◇ 火災1件あたりの平均損害額の推移



◇ 1年間の火災による総損害額の推移



救急・救助

(1) 救急活動状況及び搬送人員

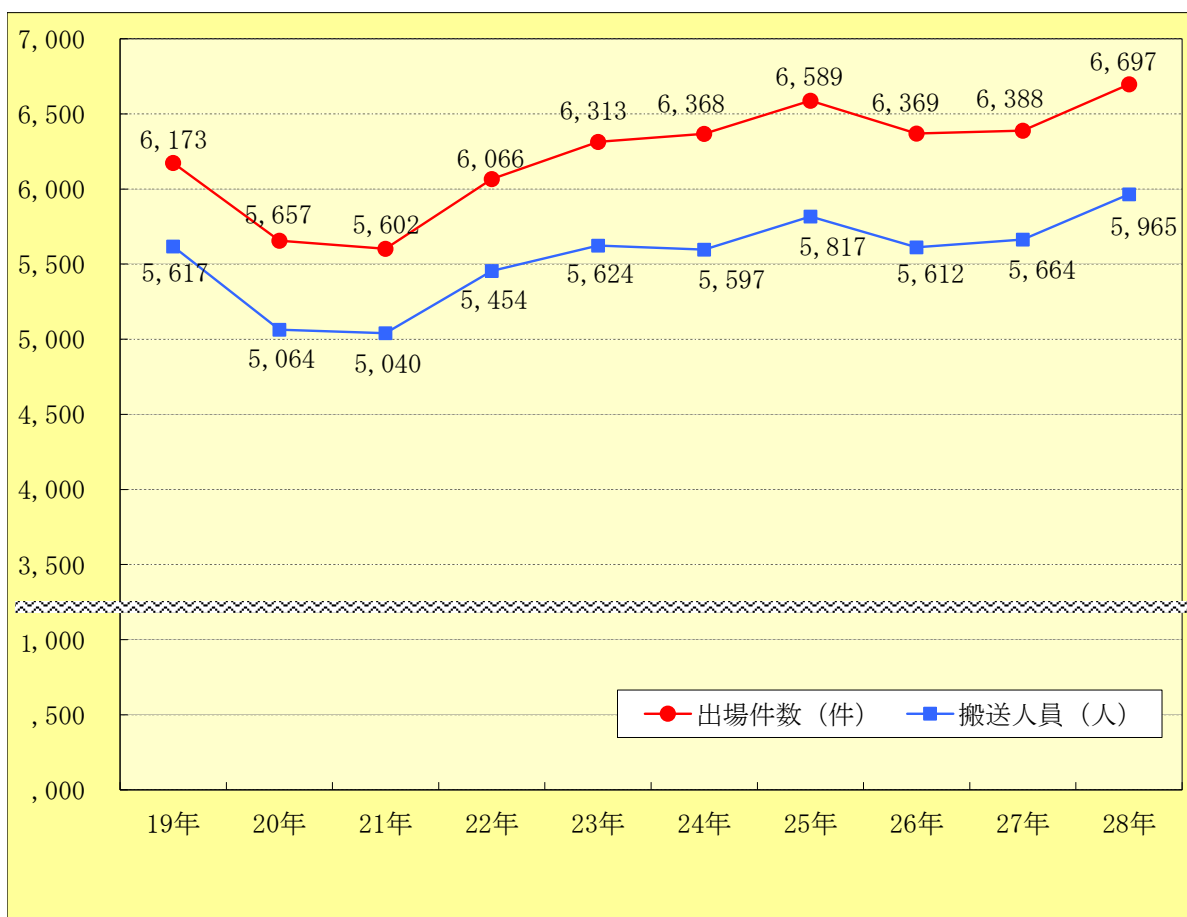
(平成28年中)

項 月	区 分	合 計	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他			
													転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 器 材 搬 送	そ の 他
合計	出場件数	6,697	68	0	4	673	49	42	954	36	59	4,403	343	0	0	66
	搬送人員	5,965	8	0	1	613	48	42	878	29	38	3,955	341	0	0	12
1月	件数	556	4	0	0	50	3	1	78	4	5	380	26	0	0	5
	人員	512	0	0	0	51	3	1	73	3	3	350	26	0	0	2
2月	件数	521	5	0	1	41	6	2	63	0	5	357	35	0	0	6
	人員	470	0	0	0	38	6	2	59	0	4	326	34	0	0	1
3月	件数	567	8	0	1	58	5	7	75	4	4	371	29	0	0	5
	人員	515	4	0	0	58	5	7	68	3	3	336	29	0	0	2
4月	件数	501	4	0	0	55	2	6	72	4	3	325	22	0	0	8
	人員	447	1	0	0	50	2	6	62	5	2	297	22	0	0	0
5月	件数	503	10	0	0	57	1	4	65	5	4	332	21	0	0	4
	人員	447	0	0	0	49	1	4	64	5	4	296	21	0	0	3
6月	件数	534	4	0	0	57	6	2	82	2	10	344	27	0	0	0
	人員	491	2	0	0	55	6	2	78	2	7	312	27	0	0	0
7月	件数	616	7	0	0	60	3	5	88	2	6	414	28	0	0	3
	人員	556	0	0	0	57	3	5	82	2	5	374	28	0	0	0
8月	件数	619	7	0	1	55	7	3	69	5	7	418	42	0	0	5
	人員	546	0	0	1	49	7	3	64	3	4	374	41	0	0	0
9月	件数	529	5	0	0	55	6	4	79	5	2	350	18	0	0	5
	人員	464	0	0	0	50	6	4	75	3	0	308	18	0	0	0
10月	件数	521	7	0	1	41	5	3	88	0	5	333	28	0	0	10
	人員	446	0	0	0	35	4	3	80	0	2	294	28	0	0	0
11月	件数	572	4	0	0	71	3	3	85	3	3	356	36	0	0	8
	人員	503	0	0	0	64	3	3	77	2	1	314	36	0	0	3
12月	件数	658	3	0	0	73	2	2	110	2	5	423	31	0	0	7
	人員	568	1	0	0	57	2	2	96	1	3	374	31	0	0	1

(2) 救急活動状況の対前年増減数

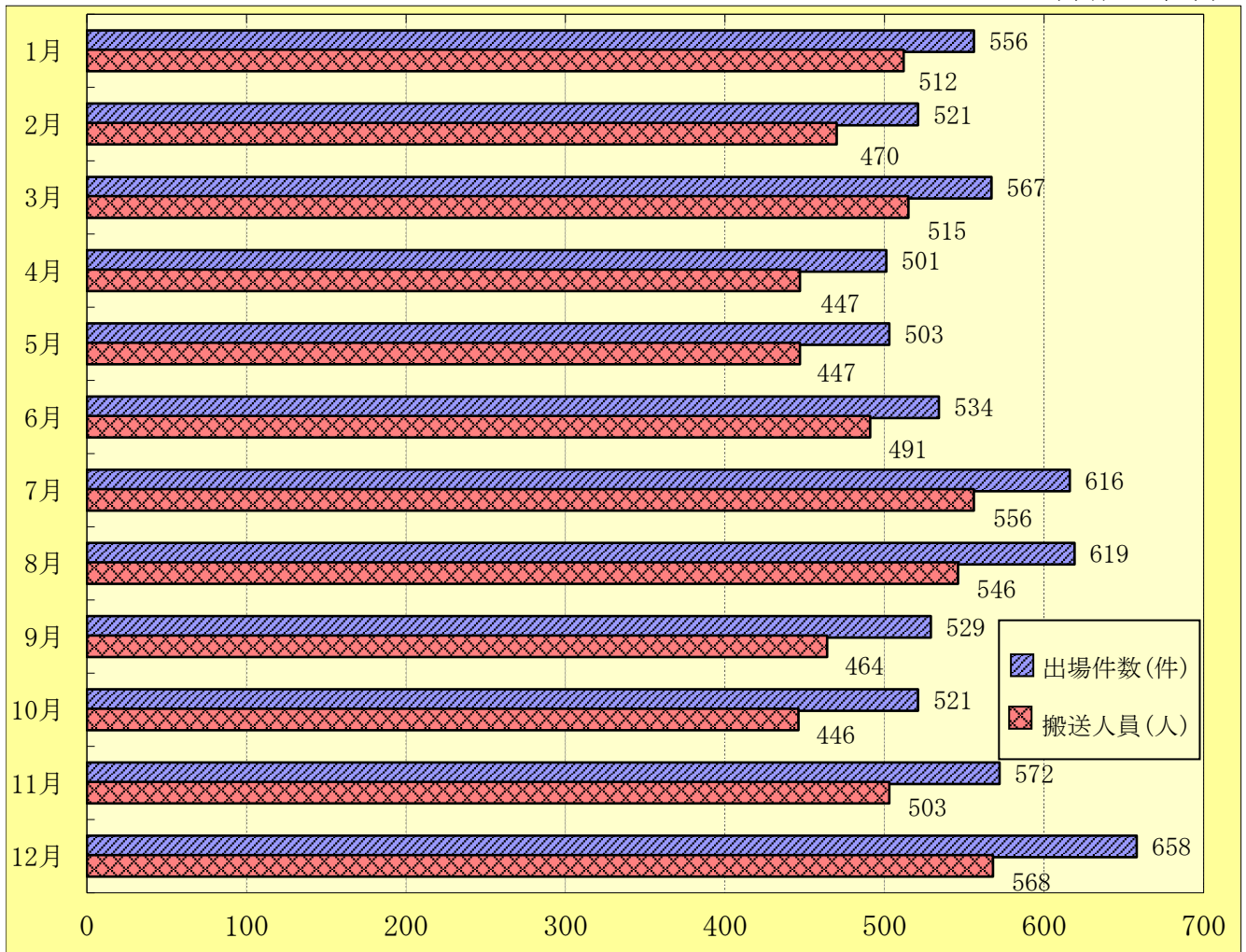
区 分	平成28年	平成27年	増減数
出 場 件 数 (件)	6,697	6,388	309
搬 送 人 員 (人)	5,965	5,664	301
不 搬 送 件 数 (件)	776	764	12
1 日 平 均 出 場 件 数 (件)	18.3	17.5	0.8
対人口1千人当りの出場件数 (件)	55.3	52.4	2.9
対 人 口 利 用 割 合	市民 20人に1人	市民 22人に1人	2

(3) 過去10年間の救急出場件数及び搬送人員



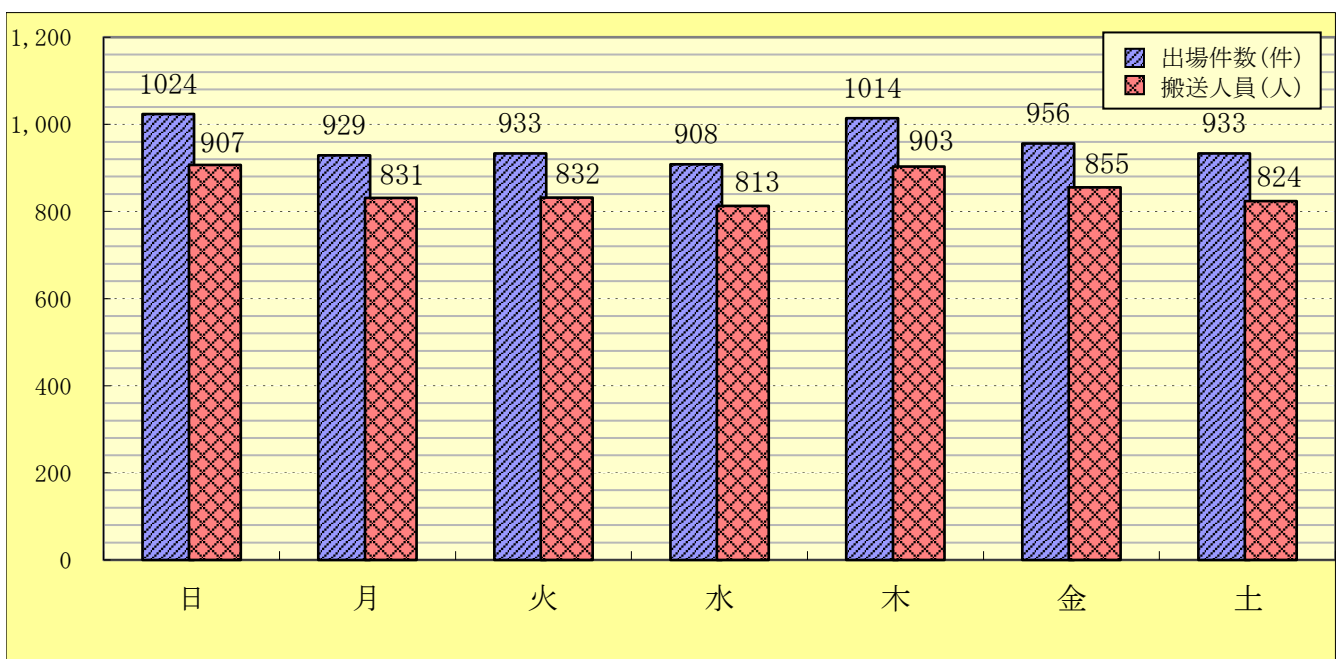
(4) 月別出場件数及び搬送人員

(平成28年中)



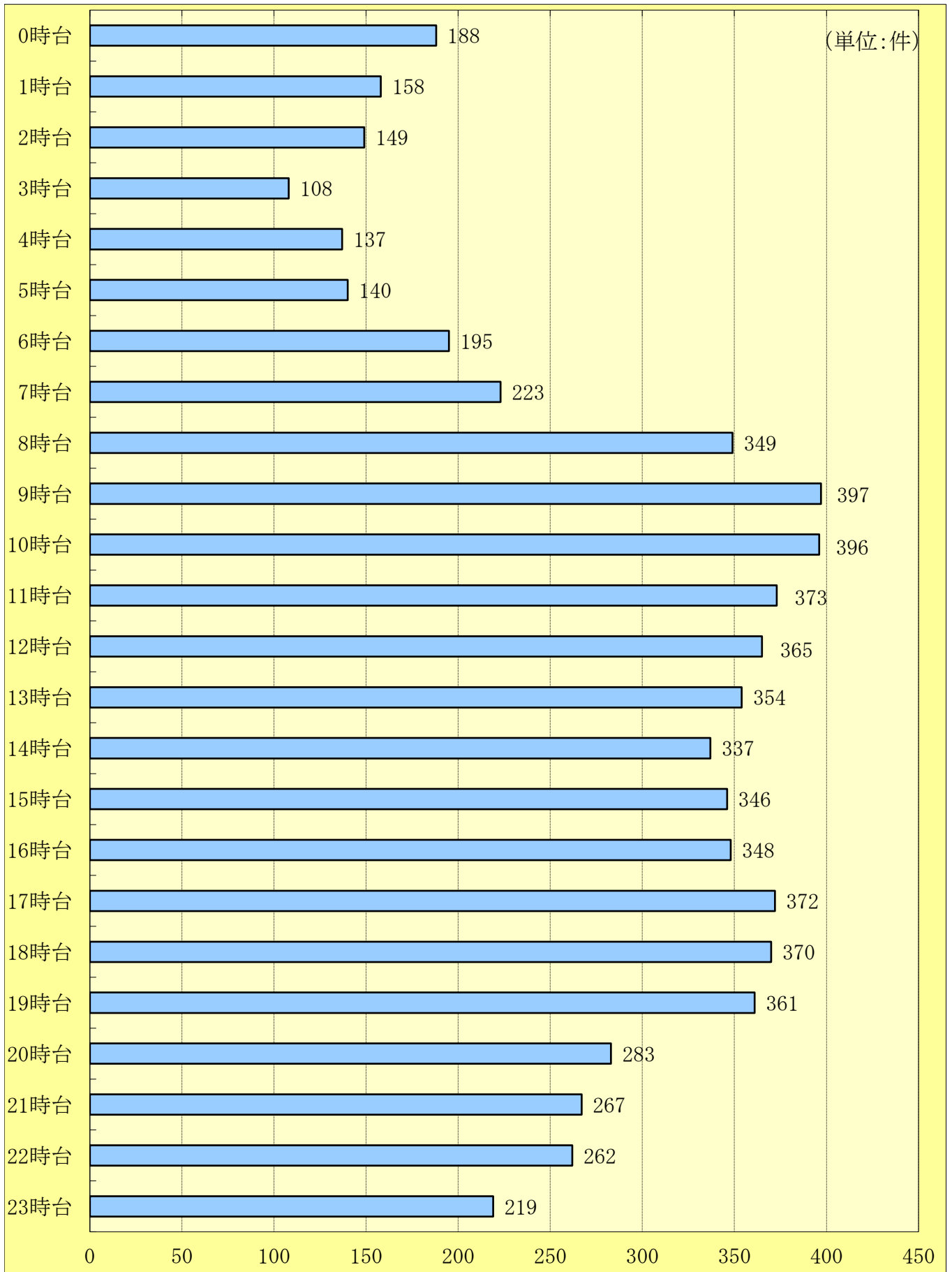
(5) 曜日別出場件数及び搬送人員

(平成28年中)



(6) 時間別救急出場件数

(平成28年中)



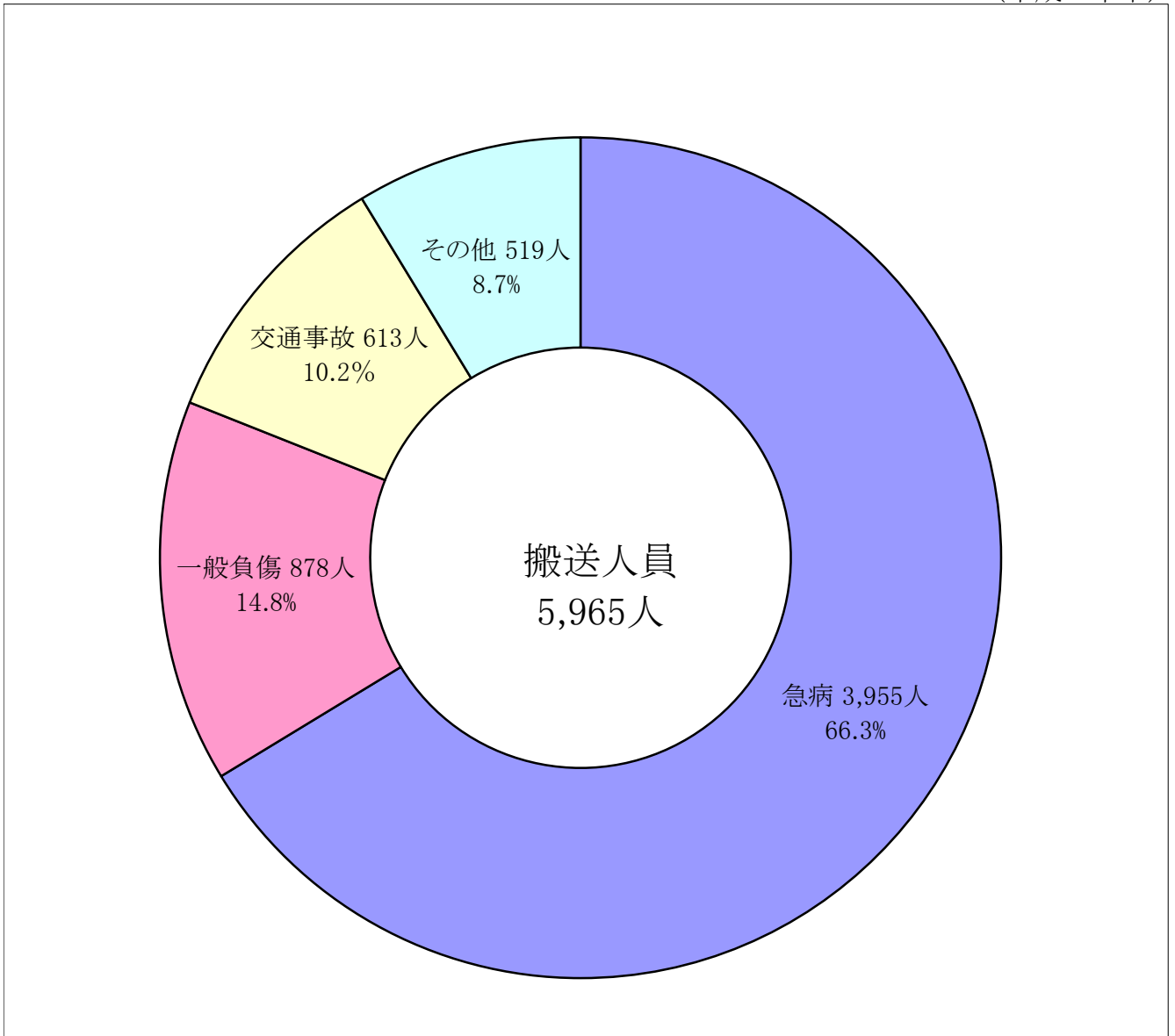
(7) 地域別救急出場件数及び搬送人員

(平成28年中)

地 域 名		出動件数	搬送人員	地 域 名		出動件数	搬送人員
松 原 地 区	阿 保	369	319	恵 我 地 区	大 堀	95	77
	上 田	479	419		小 川	62	56
	岡	316	277		一 津 屋	249	225
	河 合	202	192		別 所	183	168
	柴 垣	125	114		若 林	7	6
	新 堂	164	148	小 計	596	532	
	田 井 城	220	196	布 忍 地 区	北 新 町	253	228
	高見の里	386	318		東 新 町	360	327
	立 部	187	177		南 新 町	404	358
	丹 南	138	129		小 計	1,017	913
	西 大 塚	90	82	三 宅 地 区	三 宅 中	255	219
	西 野 々	95	91		三 宅 西	181	168
	松ヶ丘	164	151		三 宅 東	32	28
小 計	2,935	2,613	小 計	468	415		
天 美 地 区	天美我堂	297	282	他 市 町 村	大 阪 市	18	17
	天 美 北	265	245		堺 市	4	4
	天 美 西	209	178		柏羽藤市	6	3
	天 美 東	504	443		八 尾 市	1	1
	天 美 南	377	319		そ の 他	0	0
	小 計	1,652	1,467		小 計	29	25
合 計				合 計		6,697	5,965

(8) 事故種別搬送人員割合

(平成28年中)



(9) 診療科目別搬送人員

(平成28年中)

搬送区分	診療科目	診療科目																				
		合計	内科	循環器科	呼吸器科	小児科	新生児科	外科	整形外科	脳神経外科	胸部外科	腹部外科	血管外科	口腔外科	小児科	産婦人科	泌尿器科	皮膚科	耳鼻咽喉科	眼科	神経内科	精神科
合計	5,965	1,445	513	506	318	8	764	926	417	0	9	2	9	6	77	209	8	67	9	546	121	5
管内	3,989	1104	389	328	82	2	538	627	210	0	6	0	4	2	37	163	7	45	0	381	61	3
管外	1,976	341	124	178	236	6	226	299	207	0	3	2	5	4	40	46	1	22	9	165	60	2

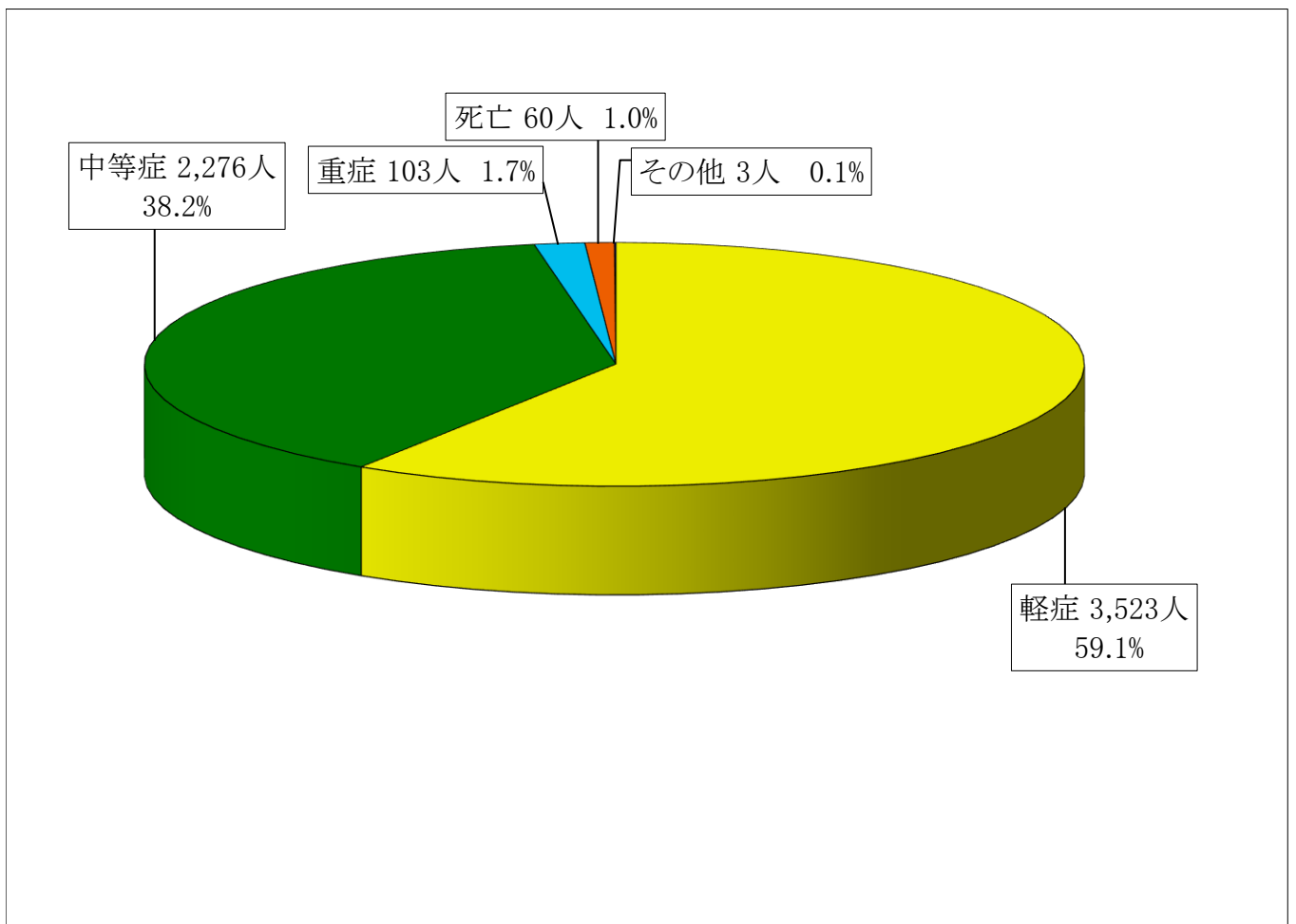
(10) 年齢別傷病程度別搬送人員

(平成28年中)

程度	年齢別	新生児	乳幼児	少年	成人	老人	合計
		生後28日以内	生後29日以上 7才未満	7才以上 18才未満	18才以上 65才未満	65才以上	
死亡		0	0	0	10	50	60
重症		0	2	1	39	61	103
中等症		7	66	46	498	1,659	2,276
軽症		1	276	204	1,252	1,790	3,523
その他		0	0	1	2	0	3
合計		8	344	252	1,801	3,560	5,965

(11) 傷病程度別搬送人員割合

(平成28年中)



(12) 救急活動所要時間

◇ 現場到着所要時間別出場件数

(覚知から現場到着迄)

(平成28年中)

所要時間 \ 事故種別	急病		交通事故		一般負傷		その他		合計	
3分未満	23		5		2		8		38	
3分以上5分未満	464		86		96		177		823	
5分以上10分未満	3,611		506		792		445		5,354	
10分以上20分未満	305		76		64		37		482	
20分以上	0		0		0		0		0	
合計	4,403		673		954		667		6,697	
平均所要時間	6分36秒		6分48秒		6分36秒		5分54秒		6分36秒	

◇ 収容所要時間別搬送人員

(覚知から医療機関等収容迄)

(平成28年中)

所要時間 \ 事故種別	急病		交通事故		一般負傷		その他		合計	
		うち管外		うち管外		うち管外		うち管外		うち管外
10分未満	1	0	1	0	0	0	0	0	2	0
10分以上20分未満	210	8	44	4	48	8	48	6	350	26
20分以上30分未満	1,520	209	244	46	326	56	200	107	2,290	418
30分以上60分未満	2,066	844	300	115	458	167	243	196	3,067	1,322
60分以上120分未満	148	105	21	16	43	31	27	22	239	174
120分以上	10	9	3	2	3	1	1	0	17	12
合計	3,955	1,175	613	183	878	263	519	331	5,965	1,947
平均所要時間	33分42秒		33分00秒		34分30秒		33分18秒		33分36秒	

(13) 救急隊員の行った応急処置件数

(平成28年中)

処置項目	事故種別	急病	交通事故	一般負傷	その他	合計
応急処置対象人員		3,950	609	873	510	5,942
止血	血	12	14	39	14	79
固定	定	7	107	41	18	173
人工呼吸	吸	1	0	0	0	1
心マッサージ	ジ	0	0	0	0	0
心肺蘇生 (人工呼吸+心マッサージ)	生	73	2	9	11	95
酸素吸入	入	655	14	35	133	837
気道確保	保	86	2	13	15	116
うち特定行為(うち気管挿管)		15		2		17
保温	温	4	0	1	5	10
被覆	覆	14	81	142	34	271
在宅療法継続	続	151	1	8	2	162
除細動	動	9	0	1	1	11
静脈路確保(輸液)	保	21	0	1		22
その他の処置		8	0	2	0	10
血圧測定	定	3,711	593	810	478	5,592
聴診器による聴取	取	257	23	23	17	320
血中酸素飽和度の測定	定	3,889	608	865	495	5,857
心電図	図	1,783	35	87	173	2,078
静脈路確保(CPA前)	保	0	0	0	0	0
静脈路確保(CPA後)	保	12	0	1	0	13
薬剤投与	与	9	0	1	0	10
血糖測定	定	12	0	0	0	12
ブドウ糖投与	与	0	0	0	0	0
合計		10,714	1,480	2,079	1,396	15,669

※ 傷病者を医療機関等へ収容するまでの間に救急隊員が行った応急処置についてその処置の対象となった傷病者の数及び処置件数。

(14) 救急講習会指導状況

(平成28年中)

講習会名	回数	受講者数
上級救命講習	2	59
普通救命講習	38	630
その他講習	63	4,639
合計	103	5,328

(15) 事故別救助活動状況

(平成28年中)

種 別	区 分	出場件数	活動件数	活動人員	救助人員
火	災	9	9	201	1
交 通 事 故		13	8	92	10
水 難 事 故		2	2	27	1
自 然 災 害		0	0	0	0
機 械 に よ る 事 故		4	1	11	1
建 物 等 に よ る 事 故		54	45	513	22
ガ ス 及 び 酸 欠 事 故		4	1	11	1
破 裂 事 故		0	0	0	0
そ の 他 の 事 故		11	8	93	6
合 計		97	74	948	42

(16) 過去5年間の救助活動状況

(各年中)

年 別	区 分	出場件数	活動件数	活動人員	救助人員
平 成 24 年		99	64	781	51
平 成 25 年		94	57	1,228	36
平 成 26 年		91	70	1,151	52
平 成 27 年		87	60	725	39
平 成 28 年		97	74	948	42

消防団

(1) 松原市消防団の組織

本部

団長

副団長

分団

第六分団

第五分団

第四分団

第三分団

第二分団

第一分団

管轄区域

柴垣
新堂・岡・立部・丹南・西大塚

三宅中・三宅東・三宅西

大堀・別所・若林・小川・一津屋

東新町・南新町・北新町・河合5丁目

天美我堂
天美東・天美西・天美南・天美北

河合12346丁目・西野々・松ヶ丘
阿保・上田・田井城・高見の里

(2) 団員配置状況

(平成 29 年 4 月 1 日現在)

階級 区分	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	合 計
団 本 部	1	3						4
第 1 分団			1	1	2	5	15	24
第 2 分団			1	1	2	5	11	20
第 3 分団			1	1	2	5	12	21
第 4 分団			1	1	2	5	15	24
第 5 分団			1	1	2	5	14	23
第 6 分団			1	1	2	5	14	23
合 計	1	3	6	6	12	30	81	139

(3) 団員の年齢構成

(平成 29 年 4 月 1 日現在)

階級 区分	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	合 計
18 歳以上 20 歳未満								
20 歳以上 30 歳未満							9	9
30 歳以上 40 歳未満							24	24
40 歳以上 50 歳未満						15	37	52
50 歳以上 60 歳未満				3	7	12	10	32
60 歳以上	1	3	6	3	5	3	1	22
合 計	1	3	6	6	12	30	81	139
平均年齢 47.6 歳								

(4) 団員の勤続年数

(平成 29 年 4 月 1 日現在)

階級 年数	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	合 計
5 年未満							24	24
5 年以上 10 年未満							20	20
10 年以上 15 年未満							18	18
15 年以上 20 年未満						6	14	20
20 年以上 25 年未満					1	19	3	23
25 年以上 30 年未満			1	2	6	4	2	15
30 年以上	1	3	5	4	5	1		19
合 計	1	3	6	6	12	30	81	139
平均勤続年数 17年1ヶ月								

(5) 火災出場状況

(平成 28 年中)

月 別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
回 数	2	3	4	2	5	2	2	3	3	4	2	3	35
延人員	67	24	96	26	50	58	60	119	115	47	28	34	724

(6) 消防自動車配置状況

(平成 29 年 4 月 1 日現在)

所 属	車 名	メーカー	車 種	排気量 (CC)	年 式	級 別
第 1 分団	ポンプ車	日野	デュトロ	4,000	平成 27 年 10 月	A-2
	動力ポンプ積載車	トヨタ	レジアスエース	1,990	平成 21 年 7 月	トーハツ B-3
第 2 分団	ポンプ車	日野	デュトロ	4,000	平成 23 年 8 月	A-2
	動力ポンプ積載車	日産	キャラバン	1,990	平成 24 年 10 月	シバウラ B-3
第 3 分団	ポンプ車	日野	デュトロ	4,000	平成 22 年 10 月	A-2
	動力ポンプ積載車	トヨタ	ハイエース	1,990	平成 25 年 9 月	トーハツ B-3
第 4 分団	ポンプ車	日野	デュトロ	4,000	平成 19 年 9 月	A-2
	動力ポンプ積載車	トヨタ	ハイエース	1,990	平成 17 年 9 月	トーハツ B-3
第 5 分団	ポンプ車	日野	デュトロ	4,000	平成 17 年 10 月	A-2
	動力ポンプ積載車	トヨタ	ハイエース	1,990	平成 26 年 6 月	トーハツ B-3
第 6 分団	ポンプ車	日野	デュトロ	4,000	平成 24 年 10 月	A-2
	動力ポンプ積載車	トヨタ	ハイエース	1,990	平成 23 年 12 月	トーハツ B-3

(7) 無線機配置状況

(平成 29 年 4 月 1 日現在)

無線波 所 属	簡 易 デ ジ タ ル 無 線		
	種 別	呼 出 名 称	台数
消防団長	携帯移動局	だんちょう	1 台
消防副団長	携帯移動局	ふくだんちょう	3 台
第 1 分団	携帯移動局	だい 1 ぶんだん	4 台
第 2 分団	携帯移動局	だい 2 ぶんだん	4 台
第 3 分団	携帯移動局	だい 3 ぶんだん	4 台
第 4 分団	携帯移動局	だい 4 ぶんだん	4 台
第 5 分団	携帯移動局	だい 5 ぶんだん	4 台
第 6 分団	携帯移動局	だい 6 ぶんだん	4 台
消防本部	固定局	まつしょうほんぶ	1 台
	携帯移動局	じむきよく	3 台
合 計			32 台

無線波 所 属	署 活 系 無 線		
	種 別	呼 出 名 称	台数
消防団長	携帯移動局	まつばら ほんだん 10	1 台
消防副団長	携帯移動局	まつばら ほんだん 11~13	3 台
第 1 分団	車載移動局	うえだ ポンプ 1・せきさい 2	2 台
	携帯移動局	うえだ とんしょ 3・うえだ 10~14	6 台
第 2 分団	車載移動局	あまみ ポンプ 1・せきさい 2	2 台
	携帯移動局	あまみ とんしょ 3・あまみ 10~14	6 台
第 3 分団	車載移動局	しんまち ポンプ 1・せきさい 2	2 台
	携帯移動局	しんまち とんしょ 3・しんまち 10~14	6 台
第 4 分団	車載移動局	えが ポンプ 1・せきさい 2	2 台
	携帯移動局	えが とんしょ 3・えが 10~14	6 台
第 5 分団	車載移動局	みやけ ポンプ 1・せきさい 2	2 台
	携帯移動局	みやけ とんしょ 3・みやけ 10~14	6 台
第 6 分団	車載移動局	おか ポンプ・せきさい 2	2 台
	携帯移動局	おか とんしょ 3・おか 10~14	6 台
消防本部	携帯移動局	まつばら ほんぶ 1・10・11	3 台
合 計			55 台

(8) 消防団活動状況

(平成28年度)

実施月	活動内容	備考
平成28年5月	1. 消防団員基礎(初任)教育訓練 A課程	
平成28年6月	1. 地域防災ネットワークプロジェクト訓練①	
	2. 地域防災ネットワークプロジェクト訓練②	
	3. 消防団員基礎(初任)教育訓練 B課程	
平成28年7月	1. 第31回「大阪の消防大賞」発表会	
平成28年8月	1. 大阪府消防協会南河内地区支部総合訓練	
平成28年9月	1. 第60回大阪府消防大会・消防操法訓練大会	優勝
	2. 地域防災ネットワークプロジェクト訓練③	
	3. 上級救命講習	
平成28年10月	1. 消防団員交通安全講習会・安全管理講習会	
	2. 幹部科教育訓練「現場指揮課程①」	
	3. 幹部科教育訓練「初級指導課程」	
平成28年11月	1. 秋季全国火災予防運動	
	2. 幹部科教育訓練「現場指揮課程②」	
	3. 特別教育訓練「機関科」(可搬ポンプ)	
	4. 救助資機材取り扱い訓練	
平成28年12月	1. 歳末警戒	
平成29年1月	1. 平成29年消防出初式	
	2. 幹部科教育訓練「分団指揮課程」	
平成29年2月	1. 消防団循環器集団健診	
	2. 南河内地区支部消防団員防災研修会	
平成29年3月	1. 春季全国火災予防運動出陣式	
	2. 松原市防災総合訓練	
	3. 大阪府消防表彰式	
※	(1) 本団会議 (随時) (2) 分団長会議 (毎月1回) (3) 警戒広報 ①(毎月10日)「火災予防推進の日」 ②春季・秋季火災予防運動期間 ③歳末警戒期間 (4) 吸水及び放水訓練 (随時) (5) 町会等訓練指導 (随時) (6) 初動体制訓練 (毎月1回)	

平成 2 8 年消防年報
(平成 2 9 年刊行)

編集・発行 松原市消防本部
松原市阿保 1 丁目 16 番 2 号

TEL 072-332-3102 (代表)

FAX 072-332-0003

直通 総務課 072-332-3302
予防課 072-332-3304
警防課 072-332-3103
消防署 072-332-3104

ホームページアドレス

<http://www.city.matsubara.osaka.jp>